



イメージリンク2400 DV Plus プラスデジタルス

ユーザーズガイド

安全性について

以下では、オペレータの安全や、機器の問題回避に役立つ情報を提供します。本マニュアルに記載されているすべての注意事項や他の説明を注意深くお読みください。

安全上の注意

- 火災、感電、故障の原因になるため、本製品は改造しないでください。
- 本製品に固定されているカバーを取り外さないでください。製品内部に高電圧部やレーザープリンタ部がある場合、感電や失明の危険性があります。オペレータはスキャナーからプロジェクションユニットをスライドさせて取り出す、またはスライドさせて戻す以外の操作を行わないでください。
- 提供されている電源コード以外は使用しないでください。
- 指示されている電源電圧でのみご利用ください。
- 複数のコンセントを持つアダプタを使って、他の機器や装置を接続しないでください。
- 濡れた手で電源コードのプラグに触れないでください。
- 電源コードのプラグは、電源コンセントにしっかり挿入してください。
- 電源コードを傷つけたり、熱したり、ねじったり、曲げたり、引っ張ったり、切ったりしないでください。また、コードの上に重い物を載せないでください。このような状態が見つかった場合は、すぐに電源をオフにしてコンセントから電源コードを抜き、EPM のサービス担当者までご連絡ください。
- 延長コードは使用しないで下さい。延長コードが必要な場合は、EPMのサービス担当者までご連絡ください。
- この製品の上に水、金属製のクリップやその他の金属製品が含まれた容器を置かないでください。
- 金属片や水、または他の異物が製品内に入った場合は、すぐに電源をオフにしてコンセントから電源コードを抜き、EPM のサービス担当者まで連絡してください。
- この製品が異常に高温になったり、煙、異常な臭い、または音を発生した場合は、すぐに電源スイッチをオフにして、電源コードを電源コンセントから抜き、EPM のサービス担当者にご連絡ください。製品を使用し続けると火災や感電が発生することがあります。
- 電源コードのプラグを、アース端子が付いた壁の電源コンセントに接続します。
- この製品を落としたり、カバーが破損した場合は、すぐに電源スイッチをオフにして、電源コードを電源コンセントから抜き、EPM のサービス担当者にご連絡ください。
- 可燃性のスプレーや液体、または気体をこの製品の付近で使用しないでください。
- 製品の換気口を塞いだり、何かを差し込まないようにしてください。
- この製品を直射日光が当たる場所や、エアコンまたはヒーターの付近に設置しないでください。
- 本製品をチリやホコリの多い場所、煙や蒸気がかかる場所、キッチンテーブル、浴室、加湿器の側などには置かないでください。
- 本製品を不安定な台や傾いた台、振動やショックが激しい場所に置かないでください。
- 本製品を設置したら、しっかりした土台に固定してください。
- 磁気の影響を受けやすいフロッピーディスクや時計の付近には、トナーやドラムを保管しないでください。
- 電源プラグの周りには何も置かないでください。
- 緊急時に電源プラグを抜きやすいように、電源コンセントの近くにマシンを設置してください。
- 本製品は、常に換気の良い場所で使用してください。
- 本製品を移動する際には、電源コードや他のケーブル類を忘れずに抜いてください。
- 電源コードを抜く時には、プラグ部分を持つようにしてください。
- トナーまたは PC ドラムユニット、その他のサプライ品や消耗品を、直射日光が当たる場所や、高温多湿な場所には保管しないでください。
- 直射日光の当たる場所では、トナーユニットや PC ドラムの交換作業は行わないでください。
- 使用直前まで、トナーユニットや PC ドラムの包装は剥がさないでください。開梱後のユニットをそのまま放置せず、すぐに設置してください。
- トナーや PC ドラムユニットを立てて、または上下逆さまに保管しないでください。

- ・ トナーユニットや PC ドラムユニットを投げたり、落としたりしないでください。
- ・ アンモニアや他のガス / 薬品類が存在する場所では、本製品を使用しないでください。
- ・ この製品は、ユーザーズガイドで指定された温度範囲の環境以外では使用しないでください。
- ・ この製品では、ホッチキス止めされた紙、カーボン紙、またはアルミニウムホイルを使用しないでください。
- ・ トナーユニットのデベロッピングローラおよび PC ドラムに触れたり、傷つけたりしないでください。
- ・ 推奨されているサプライ品や消耗品だけを使用してください。

安全上の規定

- ・ 本装置は、湿気、汚れ、熱、直射日光の影響を受けない、チリやホコリのない場所に置いてください。
- ・ ローラーや他の可動部に手、髪の毛、衣類を近づけないようにしてください。
- ・ プロジェクタランプユニットを取り外す前に、スキャナーがオフになっていることを確認してください。
- ・ 適切な電圧の電源を利用し、マシンを正しくアースしていることを確認してください。電源延長コードは使用しないことを強くお勧めいたします。
- ・ 最適な性能を得るために、このユニットに推奨されたサプライ品と消耗品だけを使用してください。
- ・ 保護されているカバーは取り外さないでください。

FCC Part 15 - 高周波機器 (米国ユーザの方へ)

本機器は、FCC 規則の 15 条に準拠しています。

運用は次の条件を前提にしています。

- ・ この機器は有害な干渉は発生しません。また、この機器は受信したあらゆる干渉を受け入れる必要があります。これには、望ましくない運用状態を発生する干渉も含まれます。

警告

この装置は、FCC 規制のパート 15 に従ってテスト済みであり、クラス A デジタル装置の制限に準拠していることが検証済されています。これらの制限は、商業環境で使用した場合に、有害な電波干渉から適正に保護することを目的としています。本製品は高周波エネルギーを発生させ、使用し、また放射することもあります。取扱説明書に従って設置およびご使用されない場合は、無線通信に有害な障害をもたらす可能性があります。住宅地区でこの装置を使用すると、有害な干渉を引き起こす可能性があります。その場合には、ユーザ側の負担で干渉防止措置を講じる必要があります。

本装置の設計、生産は FCC 規制に基づいて行われています。変更や改変を行う場合は、FCC に申請する必要があり、FCC の規制に従います。購入者 / ユーザがメーカーに連絡せずに変更を加えた場合、FCC 規制に基づいて処罰されてしまいます。

Interference-Causing Equipment Standard (CES-003 ISSUE 4) (カナダのユーザ向け)

このクラス A デジタル機器は、カナダの ICES-003 規格に準拠します。

Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

CE マーキング (適合宣言) (欧州のユーザの方へ)

本製品は以下の EU 指令に準拠しています。

2006/95/EC および 2004/108/EC 指令。

本宣言は、欧州連合 (EU) 地域でのみ有効です。

本装置では、遮蔽インターフェイスクーブルおよび遮蔽ネットワークケーブルを使用する必要があります。

非遮蔽ケーブルの使用は無線通信に干渉を与える可能性があり、法規制により禁じられています。

騒音レベル

Machine Noise Regulation 3 GSGV, 18.01.1991: EN27779 によるオペレータ位置における音圧レベルは、70 dB(A) 以下です。

ヨーロッパ連合



このマークは、この製品を廃棄する際に、回収とリサイクルを行う適切な施設への送付が義務付けられていることを表します。

電池に関する情報

本製品にはリチウムイオンボタン電池が使用されています。資格を持ったサービス担当の技術者のみが、この電池の取り外しや交換を行うことができます。

安全性情報 (34PPM ビデオレーザープリンタ)



警告：この記号はやけどの危険性について警告するものです。
本プリンタ内には高温になる場所があり、やけどをする危険性があります。ユニット内部に給紙失敗などの誤動作がないか調べる場合は、これらの場所（定着ユニットの周り）に触れないでください。「CAUTION HOT」ラベルで示されています。

レーザープリンタの安全性：本プリンタはレーザータイプのページプリンタです。本マニュアルの指示に従って使用する限り、レーザープリンタによる危険性はありません。

レーザープリンタが照射する放射線は、保護筐体と外部カバーにより封印されているため、ユーザの操作によりレーザーの光が装置外に漏れることはありません。

本プリンタは、クラス 1 レーザープリンタ製品の認定を受けています。つまり、有害なレーザープリンタ放射が生成されることはありません。

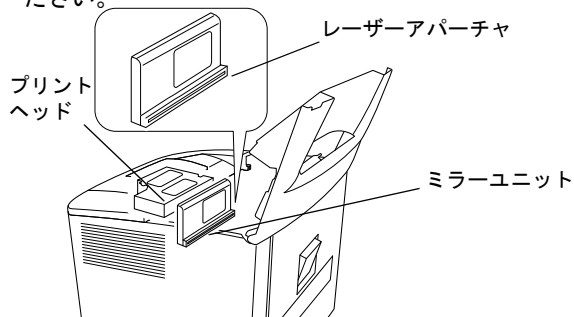
内部レーザープリンタ放射：本製品は、不可視のレーザー光線を放出するクラス IIIb レーザーダイオードを使用しています。このレーザーダイオードと多面鏡は、プリントヘッドに組み込まれています。

平均最大放射電力：ミラーユニットのレーザーアパーチャで 37 μ W。

波長：770 ~ 800 nm

プリントヘッド（プリンタ内のトナーカートリッジの前）は、プリントヘッドとミラーユニットから構成されています。レーザー光はプリンタ内のプリントヘッドから放出され、ミラーユニットのレーザーアパーチャを通じて放射されます。

警告：プリントヘッドは、現地サービス項目ではありません。いかなる場合でも、プリントヘッド部を開けないようにしてください。



米国地域の方へ

CDRH 規制：本プリンタは、Food, Drug, and Cosmetic Act of 1990 の Regulation Performance Standard によるクラス I レーザー製品の認定を受けています。

米国で販売するレーザー製品は必ず認定を受けなければならず、認定は米国保健社会福祉省 (DHHS) の FDA の医療機器 / 放射線保健センター (CDRH) に報告されます。つまり、本製品は有害なレーザー放射を生成することはありません。

以下のラベルは、CDRH 規制に準拠していることを示すもので、米国で販売されるレーザー製品には必ず貼り付けられています。

注意：本マニュアルに指示されている以外の手続きで本製品を使用、調整すると、有害な放射線にさらされる危険性があります。

これは半導体レーザーです。レーザーダイオードの最大出力は 15 mW で、波長は 770-800 nm です。

その他のユーザの場合

警告: 本マニュアルに指示されている以外の手続きで本製品を使用、調整すると、有害な放射線にさらされる危険性があります。これは半導体レーザーです。レーザーダイオードの最大出力は 15 mW で、波長は 770-800 nm です。

デンマークの場合

ADVARSEL: Usynlig laserstråling ved åbning, når sikkerhedsafbrydere er ude af funktion. Undgå udsttelse for stråling. Klasse 1 laser produkt der opfylder IEC60825 sikkerheds kravene.

フィンランド、スウェーデンの場合

VAROITUS!: Laitteen käyttäminen muulla kuin tässä käyttöohjeessa mainitulla tavalla saattaa altistaa käyttäjän turvallisuusluokan 1 ylittävälle näkymättömälle lasersäteilylle.

VARNNING: Om apparaten används på annat sätt än i denna bruksanvisning specificerats, kan användaren utsättas för osynlig laserstråling, som överskrider gränsen för laserklass 1.

VARO: Avattaessa ja suojalukitus ohitettaessa olet alttiina näkymättömälle lasersäteilylle. Aja katso sateeseen.

VARNING: Osynlig laserstråling när denna del är öppnad och spärren är urkopplad. Betrakta ej strålen.

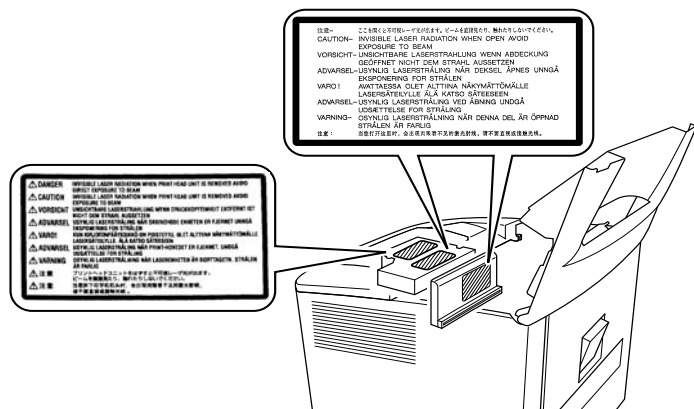
ノルウェーの場合

ADVARSEL: Dersum apparatet brukes på annen måte enn spesifisert i denne bruksanvisning, kan brukeren utsettes for usynlig laserstråling som overskrider grensen for laser klasse 1.

Dette er en halvleder laser. Maksimal effekt til laserdiode er 15mW, og bolgelengde er 770-800 nm.

警告ラベル

マシン内には次の 3 種類のレーザー警告ラベルが貼られています。

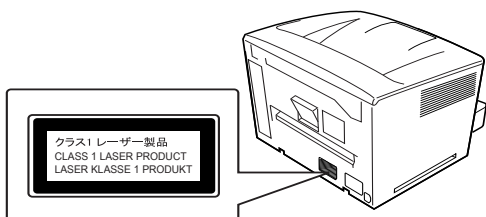


オゾンの放出 (すべてのユーザが対象)

プリンタの運用時に、わずかな量のオゾンが放出されます。生成される量はほんのわずかで、何の悪影響もありません。ただし、マシンを使用する部屋では適切な換気を行ってください (特に大量印刷を行う場合や長時間にわたってマシンを連続使用する場合)。

警告ラベル

マシンの外には次の 1 つのレーザー安全性ラベルが貼られています。



目次

1 概要	1-1
製品概要	1-2
設置	1-2
電源	1-3
アース	1-3
スペース要件	1-3
動作環境	1-4
システム構成	1-5
スキャナーのコンポーネント	1-6
オプションのアクセサリ	1-7
電源のオン/オフ	1-9
自動節電/プロジェクタランプ機能	1-10
2 操作パネルと機能	2-1
操作パネル (基本)	2-1
操作パネル - Shift 機能	2-4
イメージ処理機能	2-5
3 スキャナーの使用方法	3-1
プロジェクションレンズの選択	3-2
プロジェクションレンズの交換	3-3
接続モードの選択	3-4
ズームとフォーカス設定	3-4
フィルムタイプの選択	3-6
イメージ濃度の選択	3-7
印刷枚数の入力	3-7
出力形式の選択	3-8
印刷フォーマットの選択	3-8
自動マスクングの使用	3-9
手動マスクングパネル (オプション)	3-10
手動マスクングの使用	3-11
センタリング/フィットの使用	3-12
サイクル印刷モードの使用	3-13
解像度の選択	3-14
ジョブプログラムの登録	3-14
ジョブプログラムの呼び出し	3-14
電子ズーム機能の使用	3-15
画面の輝度の調整	3-15

4 プリンタ機能	4-1
プリンタに関する注意事項	4-1
プリンタの消耗品について	4-1
プリンタ部品	4-2
用紙の仕様	4-4
給紙トレイへの用紙のセット	4-4
給紙カセットへの用紙のセット	4-5
トナーカートリッジの交換	4-9
排気フィルタの交換	4-12
トラブルシューティング	4-12
紙詰まりの除去手順	4-12
給紙トレイからの紙詰まりの除去	4-13
給紙カセットからの紙詰まりの除去	4-13
プリンタ内部の紙詰まりの除去	4-14
出力ビンからの紙詰まりの除去	4-15
プリンタのメンテナンス	4-16
ピックアップローラのクリーニング	4-16
給紙カセットのピックアップローラのクリーニング	4-17
5 スキャナーのメンテナンス	5-1
スキャナーのクリーニング	5-1
プロジェクタランプの交換	5-3
6 トラブルシューティング/メッセージ	6-1
プリンタ/スキャナーの誤作動	6-1
プリンタの問題解決	6-3
付録 A 仕様	A-1
付録 B ユーザおよびシステム設定	B-1
ユーザモード	B-2
ユーザモードへの移行とモードの終了	B-2
ユーザモードの各機能の設定	B-4
システム設定	B-7
付録 C 主なオペレータ情報	C-1

1 概要

このユーザーズガイドでは、IMAGELINK 2400 DV プラス デジタルスキャナーの使用手順と情報を提供します。次の情報が記載されています。

第 1 章、はじめに— *IMAGELINK* 2400 DV プラス デジタルスキャナーに関する一般情報を提供します。製品説明、設置の情報、環境仕様、および外付け部品の概要と、スキャナーのオン/オフ方法についての説明が含まれています。

第 2 章、操作パネルの機能— 操作パネルに提供されているアイコンと、その使用法を説明します。

第 3 章、スキャナーの使用法— スキャナーの使用法を説明します。レンズの交換、ネガ / ポジ印刷の選択、イメージ濃度、印刷枚数、イメージ処理機能の調節などの説明が含まれています。さらに、ジョブプログラムの設定と呼び出しに関する情報も含まれています。

第 4 章、プリンタ機能— プリンタの使用とメンテナンスに関する手順を説明します。

第 5 章、メンテナンス— プロジェクタランプの交換を含む、スキャナーのメンテナンス手順を説明します。

第 6 章、トラブルシューティング/メッセージ— 操作や印刷時の問題、またはエラーの分析と修正に関する情報を提供します。

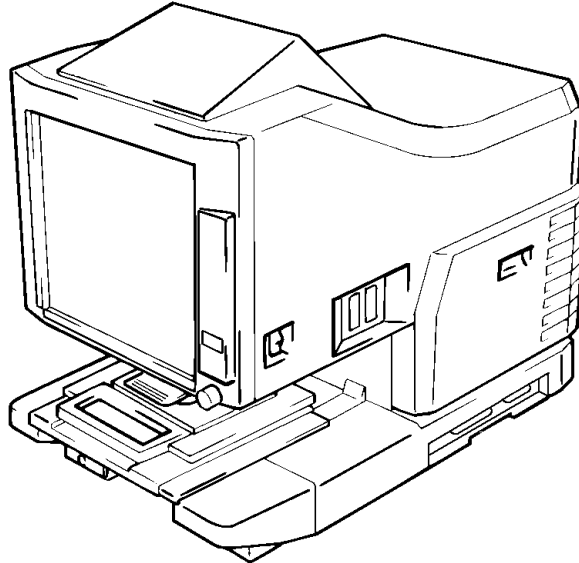
付録 A— *IMAGELINK* 2400 DV プラス デジタルスキャナー、および *IMAGELINK* 34 ppm ビデオレーザースキャナーの仕様を説明します。

付録 B— ユーザおよびシステム設定は、お客様ご自身またはEPMのサービス担当者が変更できます。この付録では出荷時の設定とその詳細について説明します。

付録 C— 主なオペレータ情報と、スキャナー / プリンタモデル、アクセサリ名、およびシリアル番号など、システム情報を記録するための表を提供します。

製品概要

IMAGELINK 2400 DV プラス デジタルスキャナーは、内蔵された PC インターフェイスを使用して、イメージをスキャンし、オプションの高速ビデオレーザープリンタに出力します。操作を簡単にするために、すべてのコントロールはフロントパネルにマウントされています。オプションのレーザープリンタに直接スキャンすることも、最大 800 dpi で PC に出力することもできます。



設置

スキャナーを次に記載するような環境に設置することで、最適な性能が得られます。

- 通気がよく、アンモニアやその他の有機ガスのない場所。
- 装置の電源コードを簡単に抜き差しできる、壁のコンセントに近い場所。
- 直射日光が当たらない場所。
- エアコン、ヒーター、換気扇などから来る風が直接当たることがなく、温度や湿度が極端に高かったり低くない場所。
- 表面が平らで過度の振動がない安定した場所。
- プリンタの排熱ダクトを塞ぐ物体がない場所。
- カーテンなどの燃えやすい物から離れた場所。
- 水や液体がかからない場所。
- チリやホコリのない場所。

注：窓の近くにスキャナーを設置する場合、画面を窓側に向けないようにしてください。

電源

- 電圧変動が少ない電源を使用してください。

電源 : 50 Hz/60 Hz

電圧変動 : ±10% 以内

周波数変動 : ±3% 以内

- 電源コンセントの容量を超えないようにしてください（特に、同じコンセントから他の機器にも電力を供給する場合）。
- 必要に応じて電源コードを簡単に抜き差しできるように、装置の近くにあるコンセントを利用してください。
- 装置で使用するコンセントには、複数ソケットを使って他の機器やマシンを接続しないでください。
- 延長コードが必要な場合は、装置の電力消費量より大きな容量を持つコードを利用してください。
- 電源コードと延長コードがシステム機構に巻き込まれないようにしてください。また、電源コードや延長コードの上に装置を乗せてその重量をかけないでください。

アース

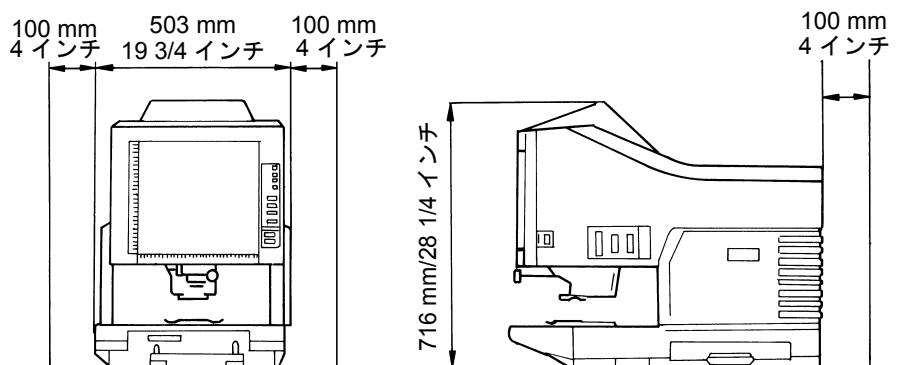
漏電による電気ショックを防止するために、プリンタは必ずアースしてください。

- 地域の電気標準規格に従って、コンセントのアース端子とアース接地部分にアース線を接続します。
- アース線をガス管、水道管、または電話用のアース線には接続しないでください。

スペース要件

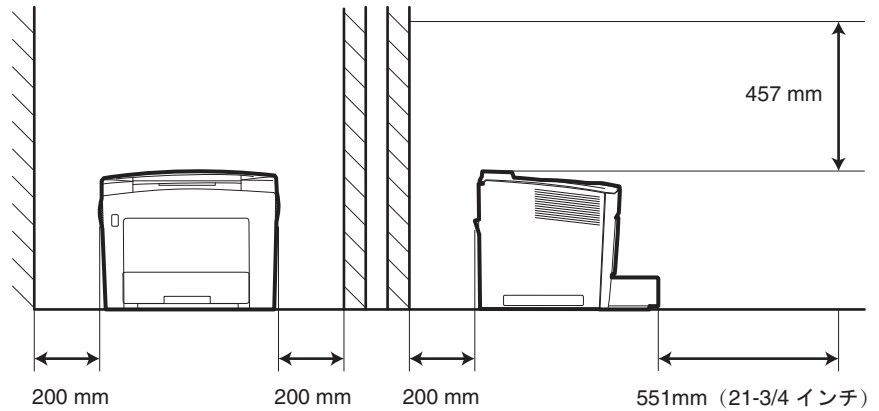
スキャナー

壁と装置の背面の間、装置の左右に次のクリアランスを設けて、スペースを十分にとり、通気孔から熱を排出できるようにします。



システムプリンタ

操作、メンテナンス、サプライ品の交換を簡単にするため、次の最小クリアランスを設けることをお勧めします。装置は手軽に利用できる場所に設置してください。



動作環境

システム運用における環境要件を次に示します。

温度：10°～35°C (50～95°F)、1 時間当たりの温度変動 10°C (18°F) 以内。

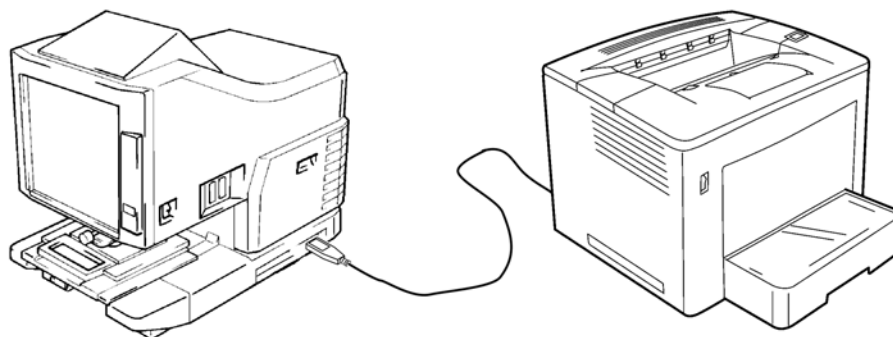
湿度：15～85%、1 時間当たりの湿度変動 20% 以内。

システム構成

本スキャナーは、次の構成で利用することができます。

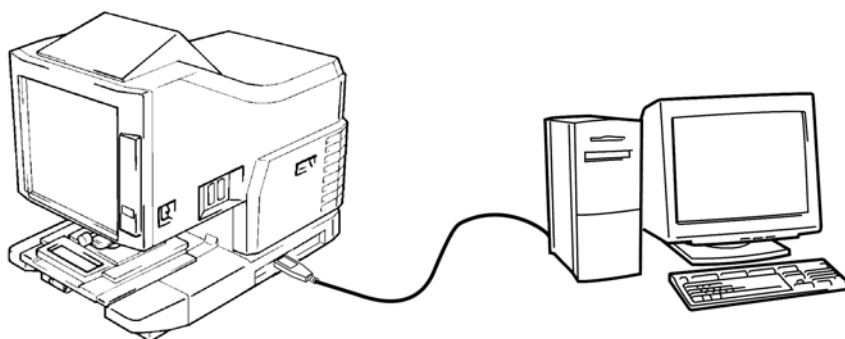
PR モード（プリンタに接続）

スキャナーを専用プリンタ（または PPM）に接続して、スキャンしたイメージを直接印刷できます。



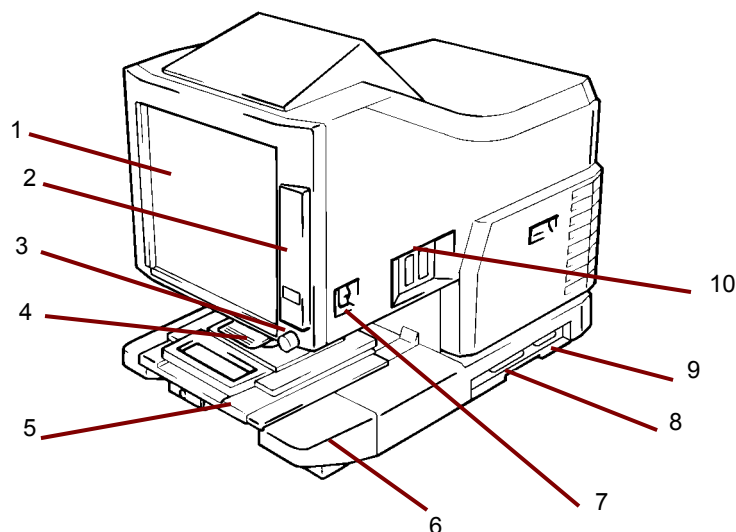
PC モード（コンピュータに接続）

スキャナーをコンピュータに接続して、スキャンしたイメージを USB ケーブルでコンピュータにアップロードできます。



操作パネルを使用して、コンピュータ（PC モード）またはプリンタ（PR モード）に接続することができます。

スキャナーのコンポーネント 前面部



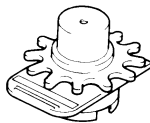
- 1 **画面** — フィルムのイメージが画面上に表示されます。画面上のフレームはデータの読み込み範囲を表しています。
- 2 **操作パネル** — ほとんどの操作は、操作パネル上のキーやインジケータで制御します。詳細は、第 2 章、**操作パネルと機能**を参照してください。
- 3 **イメージ回転ノブ** — このノブを使用して、画面上のイメージを回転させます。
- 4 **プロジェクションレンズ (オプション)** — 画面上のイメージのサイズを変更したり、焦点を調整する場合に使用します。
- 5 **フィッシュキャリア 5 (オプション)** — マイクロフィッシュの表示をサポートします。
- 6 **プロジェクタランプユニット** — 画面上にフィルムイメージを投影するミラーとレンズが含まれます。
- 7 **電源スイッチ** — スキャナーの電源のオン/オフを行います。
- 8 **USB コネクタ (オプション)** — USB ケーブルを使用して、スキャナーを PC に接続します。
- 9 **プリンタコネクタ** — インターフェイスクーブルを使用して、スキャナーをプリンタに接続します。
- 10 **コネクタ** — さまざまなオプションを接続できます (ロールフィルムキャリアやコントローラ)。

電源コードソケット — 提供されている電源コードをこのソケットに接続します。このソケットは装置の背面にあり、この図には記載されていません。

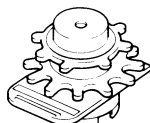
オプションのアクセサリ

スキャナーにはオプションのアクセサリが提供されています。アクセサリの詳細は、EPMの担当者までお問い合わせください。

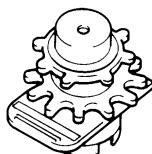
プロジェクションレンズ — イメージのサイズを変更し、焦点を調節するために、いくつかのプロジェクションレンズを利用できます。次の4種類のレンズが提供されています。



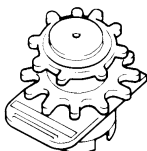
シングルレンズ 7.5X



ズームレンズ 9-16X



ズームレンズ 13-27X



ズームレンズ 23-50X

オートリトリバルコントローラ



Mini Mars-2 コントローラ — 最大 2 レベルのイメージマークを使用して、16 mm のカートリッジマイクロフィルムの自動読み込みを行います。



Mars IV コントローラ — 最大 3 ベルのイメージマークを使用して、16 mm のカートリッジマイクロフィルムの自動読み込みを行います。

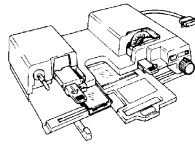
注：コダック IMC コードについては、地域販売店、または EPM のサービス担当者またはサポート担当者までお問い合わせください。

いずれのコントローラも、RFC-15A または RFC-15M キャリアと併用できます。

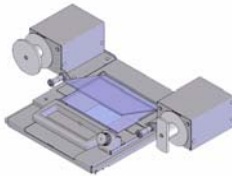
フィルムキャリア



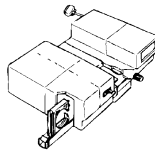
フィッシュキャリア -5 — ジャケット、マイクロフィッシュ、およびアパーチャカードに使用します。



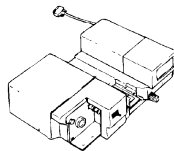
UC-2 — 16 および 35 mm のオープンスプールフィルム、マイクロフィッシュ、アパーチャカード、ジャケットの半自動ロード用モーター駆動キャリア。



UC8 — ロールフィルム用のモーター駆動キャリアですが、手動スレッドです。



RCF-15A — 16 mmのANSIクリップカートリッジフィルムの自動ロード用（オープンスプールアダプタオプション）。

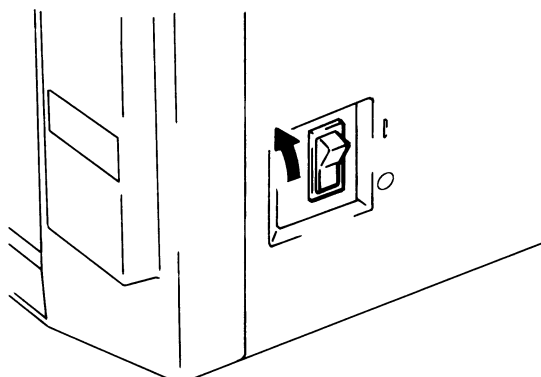


RCF-15M — 16 mm の 3M タイプカートリッジマイクロフィルムの自動ロード用。

電源のオン / オフ

電源をオンにするには：

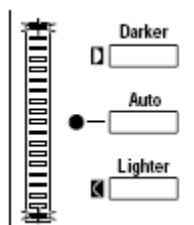
1. スキャナーの電源スイッチを押してオンの位置 (I) にします。



2. プリンタの電源スイッチを押してオンの位置 (I) にします。
3. 操作パネルに「1」が点滅し、スキャナーのウォームアップが開始されます。スキャナーのデータ読み込み準備が完了すると、「1」の点滅が止まります。



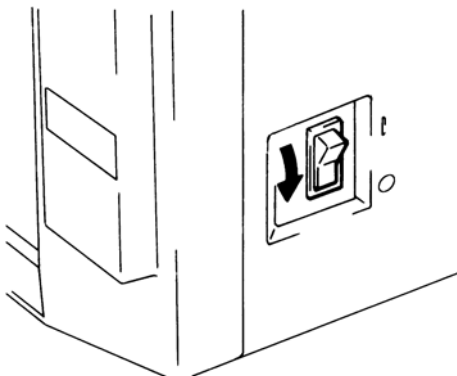
注：フィルムキャリアへのフィルム取り付け時に、まだプリンタがウォームアップ中の場合、スタートボタンを押すと、本システム内に約 9 ページ分のフィルムイメージ（レターまたは A4 サイズで /400 dpi の場合）をスキャンして保管することができます。プリンタのウォームアップが完了したら、すぐに印刷処理を開始できます。



露光ディスプレイの両側が点滅します。この機能を無効にする場合は、EPM のサービス担当者までご連絡ください。

電源をオフにするには：

1. スキャナーの電源スイッチを押してオフの位置（O）にします。



2. プリンタの電源スイッチを押してオフの位置（O）にします。

注：オン / オフスイッチの付いたコードを利用すれば、プリンタとスキャナーを同時にオン / オフできます。装置の定格に適合するコードを使用してください。

自動節電/プロジェクタランプ機能

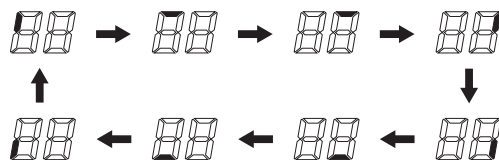
一定時間に渡ってアイドル状態のままスキャナーを放置すると、自動節電モードに移行します。自動節電モードに移行すると、電力消費量を節減するためにスキャナーのプロジェクタランプとプリンタのヒーターが自動的にシャットダウンされます。

ユーザモード機能を使って、自動節電モードに移行するまでの時間を設定することができます。次の設定オプションを利用できます。

- 自動節電（15分）
- 自動節電（30分）
- 自動節電（60分）

注：自動節電モードは無効にできます。この機能は無効にする場合は、EPM の担当者に依頼してください。

自動節電モード中は、マルチプリントディスプレイの各セグメントが時計回りに順次点灯 / 消灯します。



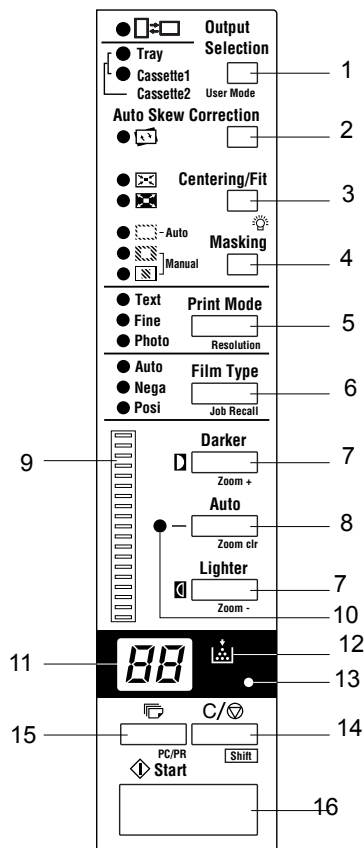
操作パネルの任意のキーを押すと、自動節電モードから通常モードに戻ります。スキャナーのプロジェクタランプが点灯し、プリンタがウォームアップ状態に移行します。

注：米国 / カナダ地域のみ：この機能を使用するには、エネルギーマイザーキットを取り付けておく必要があります。


2 操作パネルと機能

以下では操作パネルの機能について説明します。機能によっては Shift キーで使用できるものや、オプションのアクセサリを利用するためのものがあります。この章では、各機能の概要とイメージ処理機能について説明します。第3章、スキャナーの使用方法では、各機能の使用方法を説明しています。

操作パネル（基本）




- 1 出力選択 — 画面に表示されているフィルムイメージの形式に応じて、給紙元を選択します。このキーは、PR モードの場合にのみ利用できます。

: このランプが点灯している場合は、印刷時にイメージが 90 度回転されます。画面上のイメージが 90 度回転します。縦向きに置かれている用紙にはイメージが水平に、横向きに置かれている用紙には垂直に印刷されます。

このランプの点滅時: 給紙トレイや給紙カセットにレター（または A4）サイズの内紙を縦向きまたは横向きに置いた場合、フィルム形式自動選択印刷機能を利用できます。画面上のイメージの形式に適した用紙で印刷が行われます。この機能を使用する場合は、EPM の担当者にご連絡ください。

トレイ: フィルムイメージは、印刷トレイから給紙される用紙に印刷されます。

カセット 1: カセット 1 に給紙された用紙にフィルムイメージが印刷されます。

- 2  自動傾き補正 — 自動傾き補正のオン/オフを行います。自動傾き補正がオンの場合、インジケータが点灯し、傾きがあれば印刷中に補正されます。

印刷後、傾きは保持、またはリセットされます。このデフォルトを変更する場合は、EPM の担当者にご連絡ください。

- 3 **センタリング/フィットキー** — これを押すと、センタリングおよびフィット機能が有効、または無効になります。**自動マスクング**、**トリミング**、または**マスクングをオフ**に設定されている場合、**センタリング**を選択すると、自動マスクングが自動的に有効になります。
- **センタリング**：自動マスクングで検索された画面イメージやトリミングされたイメージをページの中央に置きます。
 - **フィット**：自動マスクングで検索されたイメージやトリミングされたイメージをページに合うように拡大します。スキャナーをPCに接続している場合、**マスクング**を選択すると、この機能を使用することはできません。
- 4 **マスクング** — これを押すと、**オフ**、**自動マスクング**、**自動トリミング**、および**手動マスクング**の順に切り替わります。

- **[オフ]**：マスクングまたはトリミングは行われません。

自動マスクング：印刷するフィルムイメージのフレーム（イメージ以外の領域）は省略します。

- オフからオンにすると、前のセンタリング/フィット設定が適用されます。
- オンからオフにすると、センタリング/フィットは無効になります。

注：自動マスクングは、**マスクング**、または**トリミング**の設定には適用できません。

トリミング：オンにすると、イメージ以外の領域（フレーム）が自動的にマスクングされた状態でイメージが印刷（スキャン）されます。

マスクング：画面上に定義された領域外のイメージのみを印刷します。

- オフ状態から**トリミング**を選択した場合、以前に入力されたセンタリング/フィット、手動マスクングの設定が適用されます。
- トリミングの状態から、**マスクング**機能を選択した場合、センタリング/フィットの設定は無効になり、以前のマスクング領域の設定が適用されます。
- マスクング状態から**オフ**を選択すると、手動マスクングの領域はキャンセルされます。

注：

- 自動マスクング機能では、**トリミング**も**マスクング**も利用できません。
- スキャナーをPCに接続している場合、**トリミング/マスクング**機能は設定できません。

- 5 **印刷モード** — 印刷するイメージの品質をきめ細かく調整することができます。このキーを押すごとに、**テキスト**、**ファイン**、**写真**の順で切り替わります。

- **テキスト**：テキストイメージに使用します。
- **ファイン**：低グレードのフィルムに使用します。
- **写真**：写真グレードのイメージに使用します。

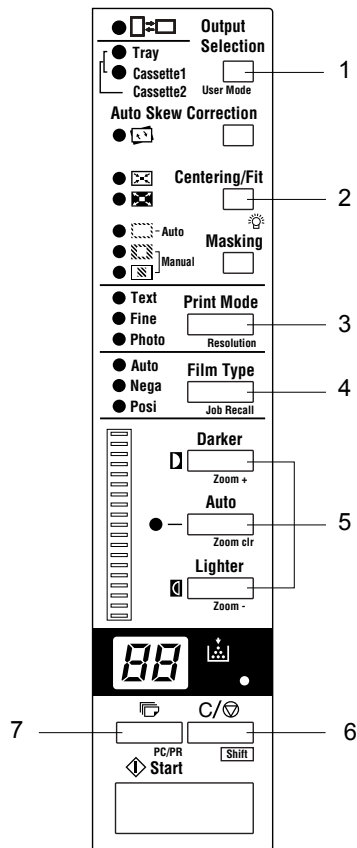
- 6 **フィルムタイプ** — キーを押すたびに、**自動**、**ネガ**、**ポジ**の順で切り替わります。
 - **Auto** (自動) : ネガ、ポジのフィルムタイプを、スキャナーが自動的に判断します。
 - **ネガ** : ネガフィルムの使用時に選択します。印刷の暗部と明部が反転されます。
 - **ポジ** : ポジフィルムの使用時に選択します。フィルムのイメージと同じ暗部と明部で印刷が行われます。
- 7 **露出調整** — **自動**または**手動** **露光モード**で、印刷するイメージの濃度を調整します。
 - **ダーカー** : ダーカーイメージ濃度をサポートします。
 - **ライター** : ライターイメージ濃度をサポートします。
- 8 **露光モード** — **自動**または**手動**露光モードのいずれかを押して選択します。
- 9 **露光ディスプレイ** — 印刷されるイメージの現在の濃度レベルを示します。
- 10 **露光モードインジケータ** — 緑の自動ライトの点灯によって、自動露光モードであることが示されます。スキャナーが手動露光モードになると、緑の自動ライトは消えます。
- 11 **マルチプリントディスプレイ** — 作成する印刷枚数を表示します。また、故障や給紙エラーの場合には、エラーの種類を示すコードが表示されます。このディスプレイで数字が点滅している場合は、スキャナーが動作中であることを示します。
- 12 **トナー追加インジケータ** — プリンタのイメージングカートリッジまたはトナーカートリッジのトナーがなくなりそうな場合に点滅し、カートリッジのトナーが完全になくなった場合には点灯します。*PR モードのみ*。
- 13 **メモリ入力キー** — 次のいずれかの機能をスキャナーのメモリに保存するには、操作パネルでいずれかの機能を設定し、ペンやその他の道具の先でピンホールを押します。次回スキャナーを起動すると、新しい設定を入力するまで、その機能がデフォルト設定として表示されます。最大3つの設定を保存できます。
 - ネガ / ポジ
 - 印刷モード
 - 出力フォーマット
 - イメージ濃度
 - 露光モード
 - センタリング / フィット
 - マスキング
 - 自動傾き補正
 - 水平領域設定
 - 垂直領域設定
 - 電子ズーム
 - 解像度
 - イメージ歪み補正

注 : 自動リセット機能をオンにして設定後 60 秒以内にピンホールを押さなかった場合は、過去の設定が有効なままになります。

- 14 **クリア/中止** — マルチプリントディスプレイの設定を消去し、ディスプレイを 1 にリセットするか、マルチプリントサイクルを停止します。
- 15 **マルチプリント** — 連続する複数ページを印刷する場合に、印刷部数を設定します。キーを押すごとに、数字が1つずつ増加（1、2、3...）します。（最大 19）。PR モードのみ。
- 16 **スタート** — 表示されたイメージの印刷（スキャン）プロセスを開始します。

操作パネル - Shift 機能

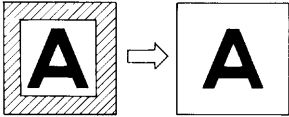
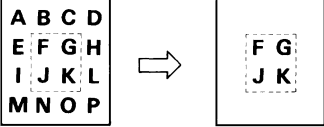
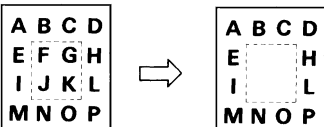
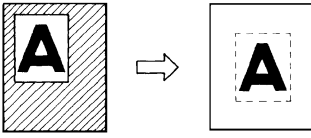

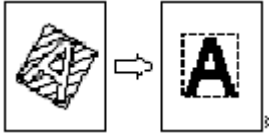
次に示すすべての機能と共に、Shift キーを押す必要があります。

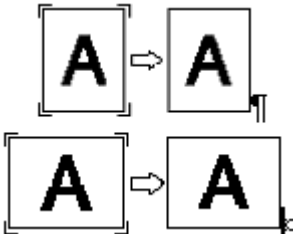
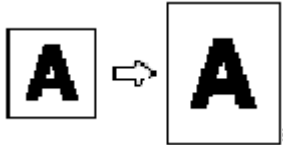
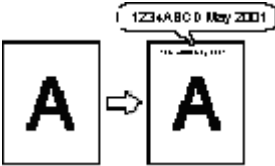


- 1 **ユーザモード** — ユーザモードに移行します。詳細は、付録B、ユーザおよびシステム設定を参照してください。
- 2 **ランプの輝度** — 画面の輝度を調整します。このキーを押し続けると、画面が徐々に暗くなり、最後はオフになります。その後、任意のキーを押すと、元の最大レベルまで輝度が戻ります。
- 3 **解像度** — スキャナーの解像度を設定します。
 - スキャナーがプリンタに接続されている場合：6H。
 - スキャナーがPCに接続されている場合：2H、3H、4H、6H、8H。
 注：4Hは400 dpiを、6Hは600 dpiを表します。
- 4 **ジョブの呼び出し** — Shift キーと共に押すと、プログラムの登録位置（1J、2J、および3J）が呼び出されます。Shift キーを押した状態でこのキーを押すたびに、ディスプレイが1J、2J、3Jの順に切り替わります。
- 5 **ズーム** — 電子ズーム倍率変更を設定します。
 - **ズーム+**：Shift キーと一緒に押すと、倍率が0.01Xずつ増えます（最大2.00X）。
 - **ズームクリア**：Shift キーと一緒に1秒間押すと、標準倍率に戻ります。
 - **ズーム-**：Shift キーと一緒に押すと、倍率が0.01Xずつ減ります（0.50Xまで）。
- 6 **Shift** — このセクションで説明しているいずれかの機能にアクセスする場合は、Shift キーを押す必要があります。
- 7 **PC/PR** — Shift キーと一緒に押すと、PCまたはプリンタへの接続が選択できます。このキーはオプションのUSBインターフェイスが設置されていない場合は無効です。

イメージ処理機能

このセクションでは、イメージ処理機能について説明します。これらの機能の使用手順は、第 3 章、*スキャナーの使用方法*に記載されています。

画面イメージからプリントイメージへ	説明
<p>自動マスクング (1 フレーム)</p> 	<p>イメージの端に沿って表示される黒い枠はマスクング処理されます。</p>
<p>トリミング (1 フレーム)</p> 	<p>イメージの中心以外はすべてマスクング処理されます。オプションの手動フレームマスクングキットが必要です。</p>
<p>マスクング (1 フレーム)</p> 	<p>画面上に表示されているイメージの中心がマスクング処理されます。手動マスクングキットが必要です。</p>
<p>自動センタリング</p> 	<p>マスクングされたフレーム付きの表示イメージを基に、印刷ページにセンタリングされたイメージが生成されます。</p>
<p>フィット</p> 	<p>画面上のイメージを印刷表面全体にフィットさせます。</p>
<p>自動傾き補正</p> 	<p>傾きがあればイメージの印刷時に自動的に補正します。</p>

画面イメージからプリントイメージへ	説明
<p>フィルムフォーマット自動選択印刷</p> 	<p>画面上のイメージの形式（縦横のいずれか）を自動的に判断し、必要に応じて印刷します。この機能を使用する場合は、EPMの担当者にご連絡ください。</p>
<p>イメージのズーム</p> 	<p>画面イメージを使用する用紙のサイズに応じて拡大します。倍率範囲は Ledger サイズの用紙が 1.55x、Legal が 1.27、A3 が 1.41x、B4 が 1.22x です。</p>
<p>オーバーレイ</p> 	<p>印刷物に時刻、日付とメッセージを含むことができます。この機能を有効にする場合は、EPM の担当者にご連絡ください。</p>

3 スキャナーの使用方法

この章では、*IANGEL INK* 2400 DV プラス デジタルスキャナーの使用方法を説明します。

基本的な印刷手順の概要は次のとおりです。手順の詳細は本章の後半で説明します。

1. フィルムの装填。フィルムの装填方法は、使用するフィルムキャリア（オプション）によって異なります。詳細は、フィルムキャリアのマニュアルをご覧ください。
2. レンズを選択して交換します。
3. PC または PR のいずれかの接続モードを選択します。
4. 必要に応じて、ズーム、焦点、または回転オプションを選択します。
5. ネガまたはポジ印刷を選択します。
6. イメージの濃度を選択します。
7. 印刷枚数を入力します。
8. 出力形式を選択します。
9. 必要に応じて、イメージ処理機能を調整します。
10. **スタート**を押して、表示されたイメージのスキャン / 印刷を行います。イメージのスキャン / 印刷は、スタートキーを押した後に開始します。

プロジェクションレンズの選択

使用可能なプロジェクションレンズの種類は次のとおりです。使用するフィルムに対応したレンズの種類を選択します。

- 1 Type 1: 7.5X
- 2 Type 1: 9 ~ 16X
- 3 Type 2: 13 ~ 27X
- 4 Type 3: 23 ~ 50X

次のリストには、一般的な種類のフィルムと、使用するレンズの推奨ズーム比を記載しています。フィルムの 1 フレームのサイズやフォーマットは、撮影時の条件によって異なる場合もあります。

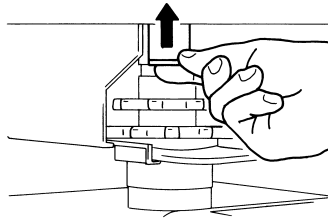
フィルム		スキャンサイズ 8 1/2 x 11" (A4)
35 mm	半分	2
	完全	1
16 mm	半分	3
	完全	2
ソースドキュメント	60	3
	98	3 または 4
	325	4
	420	4
COM	63	3
	70	3
	80	3 または 4
	84	3 または 4
	120	3 または 4
	208	4
	270	4

レンズをズームイン/ズームアウトして、スキャンサイズに適した比率を探してください。

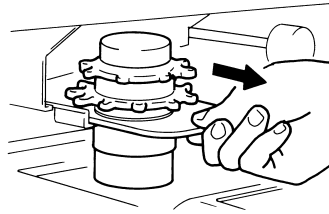
プロジェクションレンズの交換

事前に設置されたレンズと異なる倍率のレンズに交換するには：

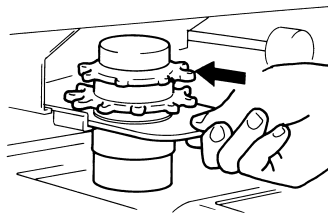
1. プリズムホルダーレベルをつかんで押し上げます。



2. レンズユニットを引き出します。

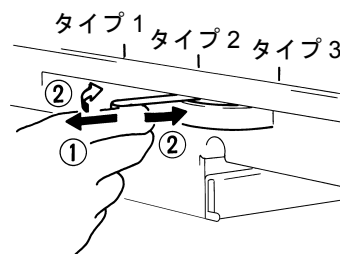


3. レンズユニットをレンズガイドに沿った位置にスライドします。



4. 明るさ選択レバーを引いて、スキャナーに取り付けられているプロジェクションレンズの種類に適した位置にスライドします。レバーが指定した位置にはまります。

注：使用しているプロジェクションレンズの種類に対応する位置に明るさ選択レバーがない場合、画面上の明度が不均一になることがあります。使用するプロジェクションレンズの種類に応じて、レバーを正しい位置に置いてください。



接続モードの選択

スキャナーの接続先として、**PR**（プリンタ接続）と**PC**（PC 接続）を選択できます。**PC 接続の場合、オプションのインターフェイスキットが必要です。**

- **Shift** キーと **PC/PR** キーを一緒に 1 秒以上押します。

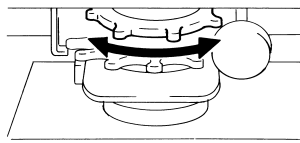
PC モード — ディスプレイの表示がマルチプリントモードから「PC」に変わったら、PC への接続が有効になります。

PR モード — ディスプレイの表示が「PC」からマルチプリントモードに変わったら、プリンタへの接続が有効になります。

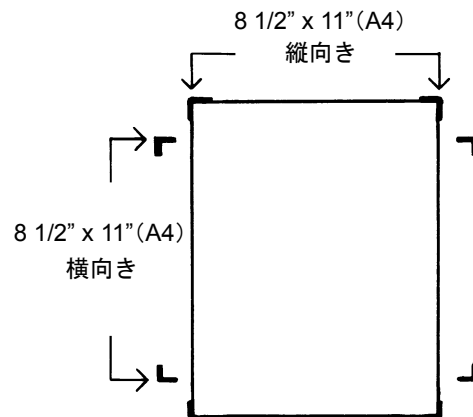
ズームとフォーカス設定

画面イメージのズーム設定

1. 画面のイメージを印刷サイズフレームに入れるには、ズームリングダイヤルを回転します。

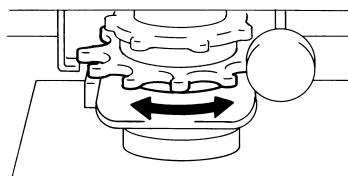


2. 画面上には用紙サイズ（8-1/2 x 11" または A4）に対応したサイズフレームマーカーが表示されます。マーカー内にフィルムイメージが収まるように、イメージをズームしてください。



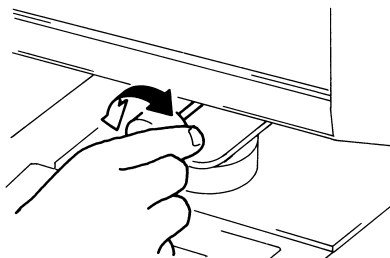
画面イメージのフォーカス設定

- 画面のイメージのフォーカスを調節するには、フォーカスリングダイヤルを回転します。



イメージの回転

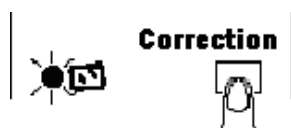
- イメージが該当する回転で表示されるまで、イメージ回転ノブを回します。イメージ回転ノブを傾けるほど、回転速度が速くなります。



注 : Shift キーを押したままイメージ回転ノブを回すと、イメージがすぐに 90 度回転します。

自動傾き補正

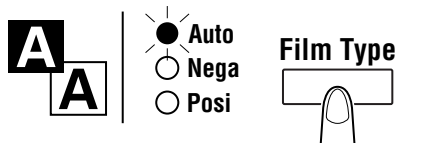
自動傾き補正をオンにしておくと、印刷時にシステムがイメージの傾きを補正します。この機能では最大 30 度までの傾きを補正できます。



フィルムタイプの選択

Auto（自動）

自動を選択すると、システムが自動的にフィルムの極性を判断します。



注：フィルムの種類によっては、フィルムの極性を自動判断できない場合があります。システムがフィルムの種類を検出できない場合は、手動で選択します。キャリアのガラス面の汚れや傷などの外的条件は、システムは検知できません。

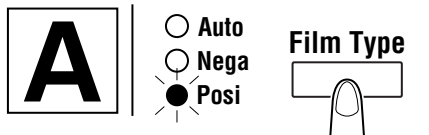
ネガフィルム

ネガフィルムを使用する場合、フィルムタイプキーを押してネガを選択します。



ポジフィルム

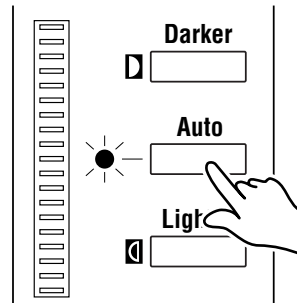
ポジフィルムを使用する場合、フィルムタイプキーを押してポジを選択します。



イメージ濃度の選択

自動露光の使用

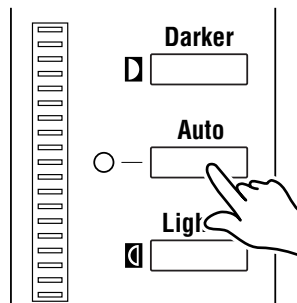
1. 露光モード選択キーを押して、自動露光モードを選択します。自動露光モードを選択すると、キーの左側にあるLEDが点灯します。



2. 自動露光で適切な露光が設定されない場合は、露光調整キー（ライター、ダーカー）を使ってイメージ濃度を調節します。

手動露光の設定

1. 露光モード選択キーを押して、手動露光モードを選択します。自動露光モードを選択すると、キーの左側にあるLEDが点灯します。



2. 適切な露光調整キー（ライター（明）またはダーカー（暗））を押して、適切なイメージ濃度（露光レベル）を設定します。

注：ライターおよびダーカーキーを一緒に押すと、露光レベルコントロールが中央に来ます。

印刷枚数の入力

この機能は、PR モードの場合にのみ利用できます。

- マルチプリントキーを使用して、該当する印刷枚数を入力します。



注：入力可能な最大数は19です。

数字の修正

- クリア/中止キーを押すと、マルチプリントディスプレイ上の数字が「1」にリセットされます。

出力形式の選択

- このキーを押して、給紙元と印刷形式を選択します。

給紙元の選択

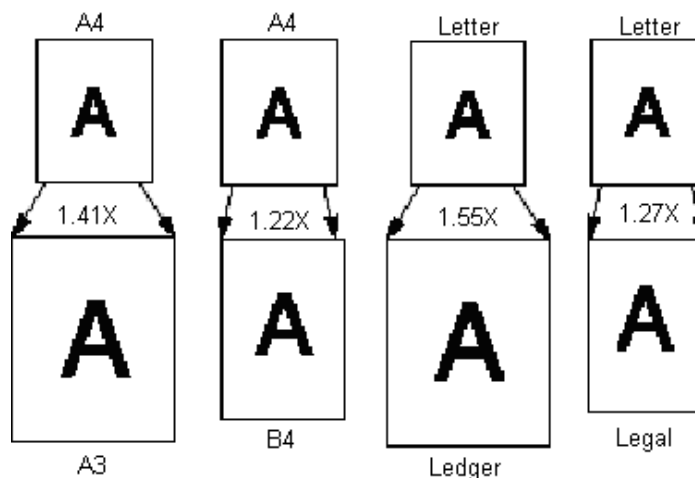
トレイ： プリンタトレイの用紙にフィルムイメージを印刷します。

カセット1： カセット1の用紙にフィルムイメージを印刷します。

選択した給紙フィーダからの用紙サイズに応じて、標準の倍率が設定されます。

用紙サイズ	A3	B4	A4	B5	Ledger	Legal	レター
標準倍率	1.41x	1.22x	1.00x	1.00x	1.55x	1.27x	1.00x

A3、B4、Ledger、Legalの場合、上記の標準倍率に応じてズームが行われ、画面上の範囲 8-1/2" x 11" (A4) 内に印刷されます。



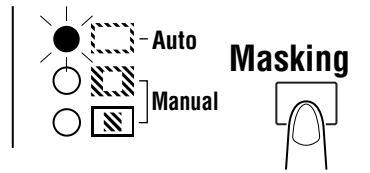
印刷フォーマットの選択

ディスプレイ	給紙	説明
ライトオフ	縦向き	画面の縦向きの領域が印刷されます。
	横向き	画面の横向きの領域が印刷されます。
ライトオン	縦向き	画面の横向きの領域が印刷されます。
	横向き	画面の縦向きの領域が印刷されます。
点滅	縦向き	画面のイメージが縦向きか横向きかが自動的に判断されて印刷されます。
	横向き	

自動マスクングの使用

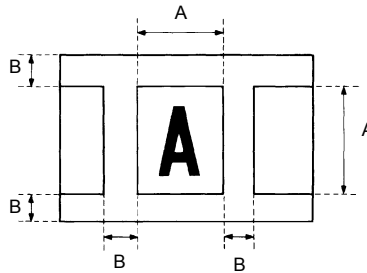
自動マスクング機能を利用すれば、フィルムイメージのフレーム（イメージ以外の領域）を印刷しないようにすることができます。

- 自動マスクングキーを押すと、この機能がオンになります。

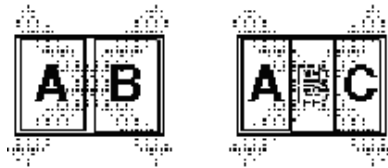


自動マスクングの操作条件

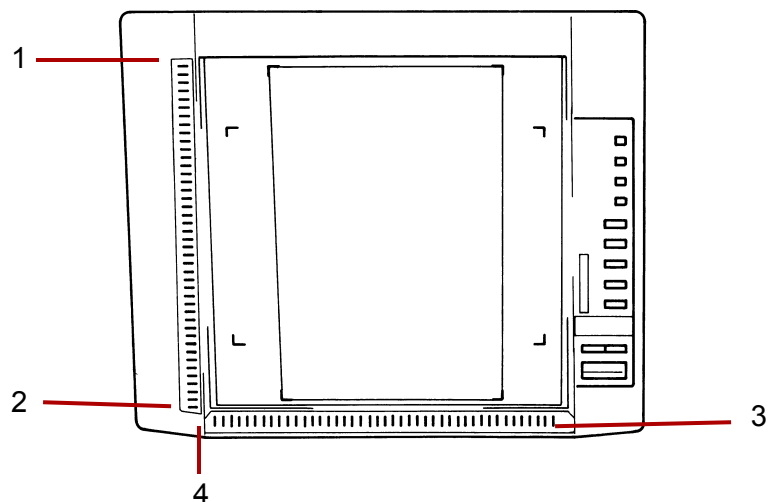
- 画面のイメージ領域は縦横いずれも 45 mm 以上あること。
- マスクング対象のフレームの幅が 10 mm 以上あること。



- 画面上のフィルムイメージが上記の条件を満たしていない場合は、自動マスクング機能は正しく機能しません。自動マスクングはフレーム消去機能です。2つのフレーム間でイメージを削除することはできません。



手動マスクングパネル (オプション)



- 1 垂直領域表示パネル** — 画面上の垂直印刷（スキャン）領域を指定するために使用します。42 個のライトが 7 mm 間隔に配置されています。画面上のイメージの印刷領域は、これらのライトの点灯パターンで示されます。
- 2 垂直領域消去キー** — このキーを押すと、指定した垂直印刷（スキャン）領域が消去されます。
- 3 水平領域表示パネル** — 画面上の水平印刷（スキャン）領域を指定するために使用します。42 個のライトが 7 mm 間隔に配置されています。画面上のイメージの印刷領域は、これらのライトの点灯パターンで示されます。
- 4 水平領域消去キー** — このキーを押すと、指定した水平印刷（スキャン）領域が消去されます。

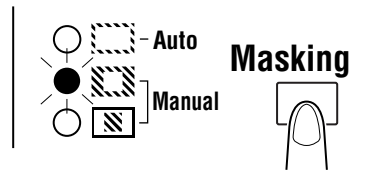
手動マスキングの使用

注：

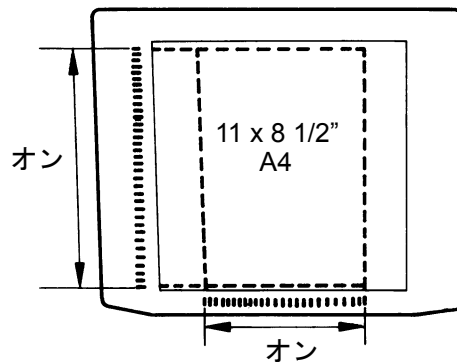
- PC モードでは、手動マスキングパネルを使用して印刷（スキャン）領域を定義できます。
- PC モードでは、トリミングとマスキング機能は使用できません。

オプションの手動マスキングキットでは、次の2つの機能によって表示されたイメージの印刷領域を指定できます。トリミングとマスキング。

トリミングの選択



- マスキングキーを押して（手動）、トリミングを選択します。現在選択されている用紙サイズと印刷の向きに応じて、パネル上のライトが点灯します。



注：緑のライトで指定された領域を印刷できます。選択したページサイズや印刷位置と一致しない場合は、ジョブプログラムの呼び出し直後にライトが点灯することがあります。

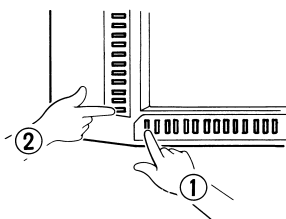
印刷領域の定義

領域指示パネルの緑色のライトを使って、画面上のイメージの垂直 / 水平領域の端を設定します。

注：垂直 / 水平領域の終点は、任意の順序で選択できます。表示パネル内で点滅しているライトは、指定した領域に間違った入力があることを示しています。

定義した印刷領域の消去

- 垂直および水平クリアキーを押して、定義した印刷領域を消去します。









マスキングの選択

- マスキングキーを押して（手動）、イメージの特定領域のマスキングを行います。

注：手動マスキングの基本的な操作は、トリミングと同じです。手動マスキングについては、前述のトリミングと領域の定義の説明を参考してください。

センタリング / フィットの 使用

画面上のイメージを手動トリミング / 自動マスキングしたら、イメージのセンタリング機能でイメージを用紙の中央に印刷できます。フィット機能は、画面上のイメージを印刷用紙のサイズ全体に合わせた大きさで印刷します。

	画面イメージ	印刷イメージ	
センタリング		センタリング オフ 	センタリング オン 
フィット		フィット オフ 	フィット オン 

センタリング

- センタリング / フィットキーを押して、センタリングをオンにしてから、スタートキーを押します。

注：（手動マスキング）を選択している場合、センタリング / フィットは利用できません。

フィット

- センタリング / フィットキーを押して、フィットをオンにしてから、スタートキーを押します。

注：スキャナーを PC に接続している場合、フィット機能は利用できません。

サイクル印刷モードの使用

あらかじめ設定されている時間の経過後に自動的に次のイメージをスキャンする機能です。イメージは、サイクル間にユーザが手動でキャリアガラスにセットします。

サイクル印刷モードは、EPM のサービス担当者による入力が必要なシステム設定です。

この機能は、PR モードの場合にのみ利用できます。

スキャン操作の間隔の指定

次の表には、スキャン操作の間隔を記載しています。間隔は、たとえばフレームごとにフィルムロールを移動する時間に基づいています。値を選択する場合は、この表を参照してください。

値	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
期間 (秒)	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0

1. マルチプリントキーを押して、値を **A** に変更します。これによってサイクル印刷モードが有効になります。
2. マルチプリントキーを押して、スキャン操作を実施する間隔を設定します（前述の表を参照）。
3. **メモリ入力キー**を押して、サイクル印刷モードの時間間隔をメモリに保管します。

サイクル印刷モードでの運用

サイクル印刷モードに移行したら、**スタートキー**を押します。

- 最初のスキャン処理の完了後、あらかじめ設定されている時間の経過後に次のイメージのスキャンが自動的に開始されます。この処理は、サイクル印刷モードがキャンセルされるまで続行されます。
- 印刷枚数の値は、スキャンおよび待機中に点滅します。
- システムが次のスキャンジョブを開始する前に、**スタートキー**を押して手動で開始することもできます。

サイクル印刷モード中に操作を停止させるには：**消去キー**を押します（印刷枚数の値が点滅表示から、非点滅表示に切り替わります）。

- 一時停止中にもう一度**クリアキー**を押すと、サイクル印刷モードが終了します（印刷枚数の表示が1になる）。

解像度の選択

1. シフトキーと解像度キーを一緒に押します。現在の解像度が表示されます。
2. シフトキーを押した状態で解像度キーを押すと、解像度が変化します。

接続モード	解像度	ディスプレイ
PR モード	600 dpi	6H
PC モード	200 dpi	2H
	300 dpi	3H
	400 dpi	4H
	600 dpi	6H
	800 dpi	8H

注：800 dpi は、スキャン領域が 220 mm 未満の場合に限り選択できます。

ジョブプログラムの登録

現在の設定では、PR と PC 接続の両方に対して、最大 3 つのプログラム登録場所（1J、2J、および 3J）を指定できます。ジョブプログラムを設定したら、必要に応じて呼び出すことができます。

1. 設定モードでメモリ入力キーを押します。「1J」が点滅します。

プログラム登録先を変更するには、マルチプリントキーを押します。ディスプレイが 1J、2J、3J、1J の順に切り替わります。



2. プログラム登録先（1J、2J、3J）を選択してから、メモリ入力キーをもう一度押します。

操作パネル上のすべての LED が点灯し、通常が表示が開始したら、プログラムの登録が終了したことを示します。

ジョブプログラムの呼び出し

登録済みのジョブプログラムを呼び出すには：

1. Shift キーとジョブ呼び出しキーを一緒に押します。

Shift キーを押しながらこのキーを押すたびに、1J、2J、3J の順に表示が切り替わります。

目的のプログラムが表示されたら、キーを放してください。

電子ズーム機能の使用

レンズによるズームのほかにも、印刷時のイメージを拡大する電子ズーム機能が用意されています。この機能は、PR モードの場合にのみ利用できません。

ズーム+ : **ズーム+** キーと **Shift** キーを一緒に押すと、0.01X 単位で倍率が増加します (最大 2.00X)。

ズーム- : **ズーム-** キーと **Shift** キーを一緒に押すと、0.01X 単位で倍率が減少します (最低 0.50X)。

注 :

- ズームの倍率は、小数点以下 2 桁までマルチプリントディスプレイに表示されます。
- ズームの倍率レベルは露光ディスプレイに表示されます。たとえば、倍率が 0.50X の場合は、50 と表示されます。倍率が 1.50X の場合も 50 と表示されます。

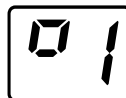
ズーム倍率のクリア

ズームクリア キーと **Shift** キーを一緒に 1 秒以上押し続けると、標準の倍率に戻ります。

標準の倍率は、用紙サイズによって異なります。

用紙サイズ	A3	B4	A4	B5	Ledger	Legal	レター
標準倍率	1.41x	1.22x	1.00x	1.00x	1.55x	1.27x	1.00x

注 : ズーム倍率を変更した場合、マルチプリントディスプレイが次のように変化します。



標準の倍率に戻った場合は、この表示が消えます。

ズーム機能使用時は、マルチプリントは最高 9 枚までしか行えません。

画面の輝度の調整

- **Shift** キーと **輝度** キーを一緒に押して、画面の輝度を調整します。

画面は徐々に暗くなり、最終的にはオフになります。その後、任意のキーを押すと、元の最大レベルまで輝度が戻ります。

4 プリンタ機能

この章では、*IMAGELINK* 34 ppm 高速ビデオレーザープリンタの使用方法和メンテナンス方法を説明します。

プリンタに関する注意事項

最適なパフォーマンスを実現するために、以下の注意事項を遵守してください。

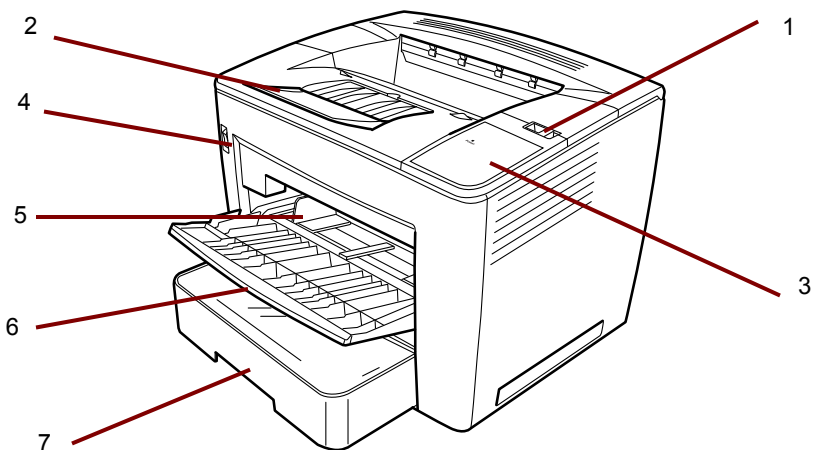
- 印刷中にカバーを開けたり、プリンタをオフにしないでください。
- 磁性体や、可燃性のガス / 液体をプリンタに近づけないでください。
- 電源プラグは常にコンセントに差し込んでください。
- 大量の連続印刷を行う場合は、良く換気してください。
- プリンタは換気の良い部屋に設置してください。通常のプリンタ動作時には、少量のオゾンが生成されます。換気が悪い部屋で過度のプリンタ運用を行うと、不快な臭いが発生する可能性があります。

プリンタの消耗品について

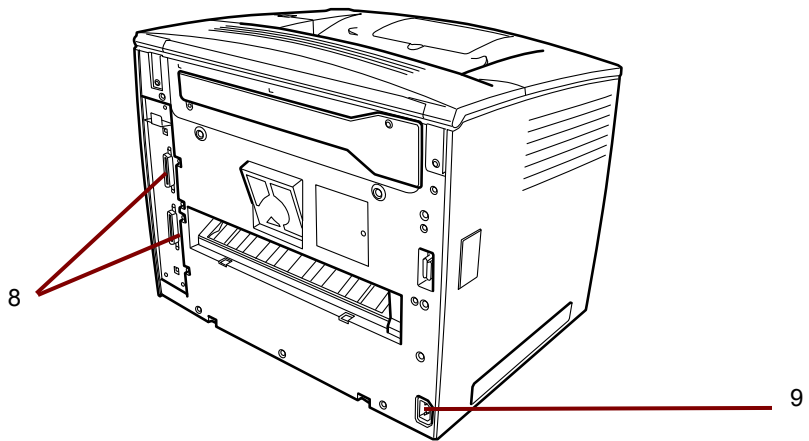
プリンタの消耗品（カートリッジ、用紙など）を取り扱う際には、以下の注意事項を守ってください。

- プリンタの消耗品は次の場所に保管しないでください：
 - 直射日光が当たる場所。
 - 暑い場所、または直火の近く。
 - 湿気の多い場所。
 - チリやホコリの多い場所。
- イメージングカートリッジは蛍光灯の光にさらされる場所には保管しないでください。
- 用紙の包装を剥がしたけれどもまだ印刷トレイにセットしていない場合は、密閉式のポリ袋に入れて、温度が低く暗い場所に保管してください。
- このプリンタ専用のイメージングカートリッジのみを使用するようにしてください。
- 手がトナーで汚れた場合は、すぐに石けんで洗い流してください。
- プリンタからイメージングカートリッジを取り外した場合、すぐにカートリッジを厚手の布で覆って光に当たらないようにしてください。

プリンタ部品

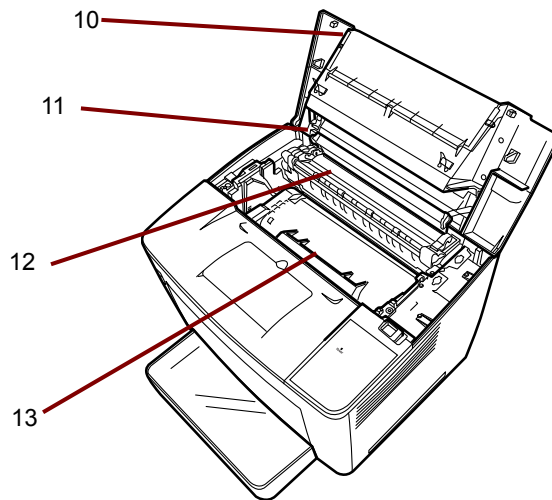


- 1 **トップカバー解除レバー** — トップカバーを開く際に使用します。
- 2 **出力トレイエクステンション** — B4 以上の用紙に印刷する場合は開いてください。
- 3 **電源インジケータ** — プリンタがオンになると点灯します。
- 4 **電源スイッチ** — プリンタをオン/オフにする場合に使用します。
- 5 **用紙ガイド** — ガイドをスライドして用紙を保持します。
- 6 **給紙トレイ** — 8 1/2 x 11" (A4) ~ 11 x 17" (A3) の標準用紙を最大 200 枚収容できます。
- 7 **給紙カセット** — 次のような標準サイズの紙を最大 500 枚収容できます : 5 1/2 x 8 1/2" (B5) ~ 11 x 17" (A3)。



8 インターフェイスコネクタ — この2つのコネクタによって、別なスキャナーユニットと接続できます。

9 AC 電源接続 — 電源コードをこのソケットに差し込みます。



10 トップカバー — トナーカートリッジを交換したり、紙詰まりを取り除く場合に開きます。

11 イメージ転写ローラ — イメージを用紙に転写します。素手でこのローラに触れないでください。

12 定着ユニット — イメージを用紙に定着させます。

13 トナーカートリッジ — 用紙に転送するイメージが生成される場所。素手で触れないでください。

用紙の仕様

次の用紙以外は使用しないでください。

種類 — 普通紙、およびリサイクル用紙(16 ~ 24 ポンド /60 ~ 90 g/m²)

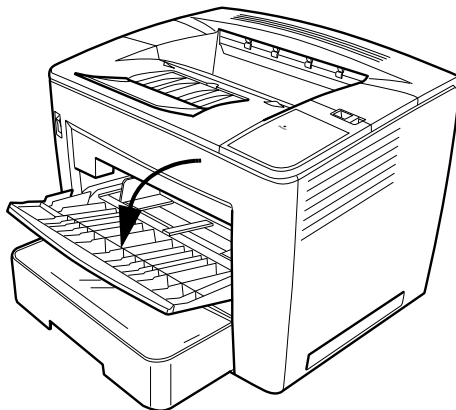
標準サイズ — 11 x 17”、8 1/2 x 11”、8 1/2 x 14”、A3、および A4。

容量

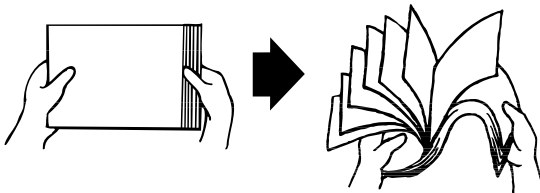
- 給紙トレイ : 8 1/2” x 11”、11” x 8 1/2”、8 1/2” x 14”、11” x 17” (または A3、A4) の普通紙、およびリサイクル用紙 - 最大 200 枚。
- 給紙カセット : 11” x 8 1/2” 8 1/2” x 14”、11” x 17” (または A3、A4) の普通紙、およびリサイクル用紙 - 最大 500 枚。

給紙トレイへの用紙のセット

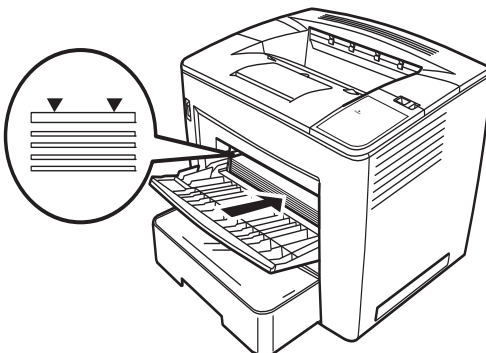
1. 給紙トレイを開きます。



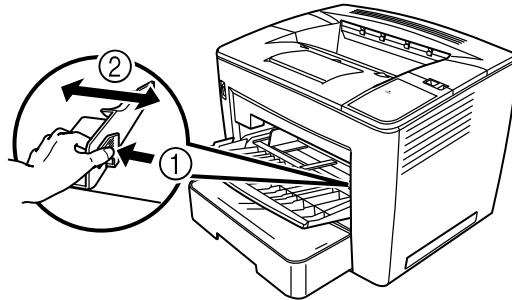
2. 用紙束をさばきます。



3. 用紙の端を揃えて、印刷面を上にしてセットします。トレイの内側の給紙制限マークより上には用紙をセットしないでください。



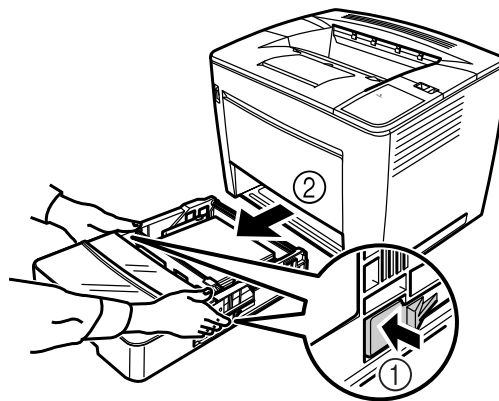
4. 用紙ガイドの右側にあるボタンを押しながら、用紙ガイドを適切な位置に調整します。



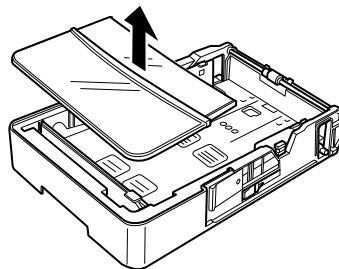
注：ガイド幅と用紙が合うように設定してください。ガイド幅が用紙と合っていない場合、印刷品質低下、紙詰まり、プリンタ故障などの問題が発生する可能性があります。

給紙カセットへの用紙のセット

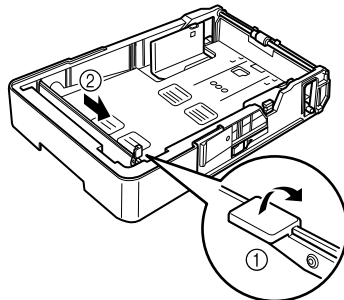
1. 給紙カセットを止まるまで完全に引き出します。
2. リリースボタン（両側に1つずつ）を押しながら、給紙カセットを取り外します。



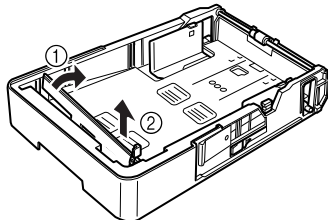
3. カセットカバーを取り外します。



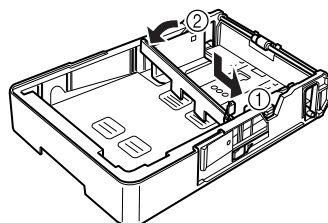
4. 用紙押さえの右端にある灰色のレバーを持ち上げて、用紙押さえを右にスライドします。



5. 用紙押さえの左端を持ち上げて取り外します。

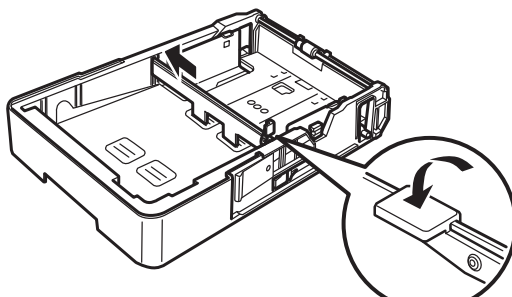


6. セットする用紙のサイズに合うスロットに用紙押さえの右端を挿入します。



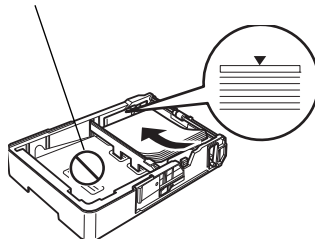
注：用紙サイズは、用紙押さえの位置によって検知されます。用紙サイズに合わせて、正しい位置に用紙押さえをセットしてください。

7. 用紙押さえを左側にスライドさせ、灰色のレバーを押し下げて、用紙押さえを保持します。用紙押さえが正しく固定されていることを確認してください。



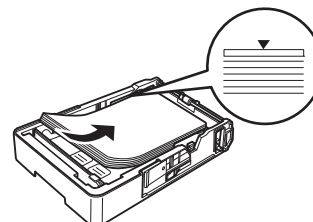
8. 用紙の四隅を揃えてから、印刷面を上にして用紙をセットします。

こちら側には用紙をセットしないでください。



長端給紙の例

レター、A4、B5

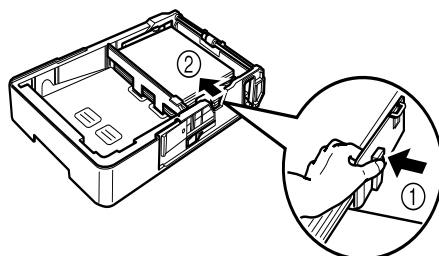


短端給紙の例

Ledger、Legal、A3、B4

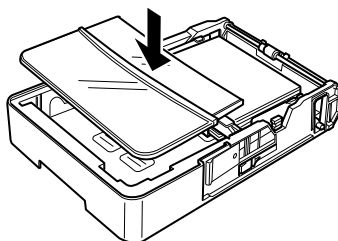
注：最高 500 枚の用紙（20 ポンドのポンド（80 g/m²）普通紙）をセットできます。三角マークを超えて用紙をセットすると、正しく給紙が行われない可能性があります。

9. 給紙ガイドのボタンを押して、ガイドを用紙の端にスライドします。

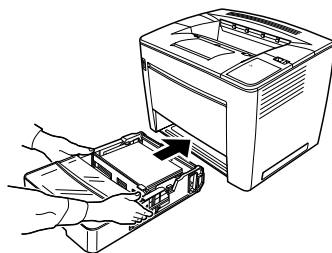


注：ガイド幅と用紙が正しく合うように設定してください。ガイド幅が用紙と合っていない場合、印刷品質低下、紙詰まり、プリンタ故障などの問題が発生する可能性があります。

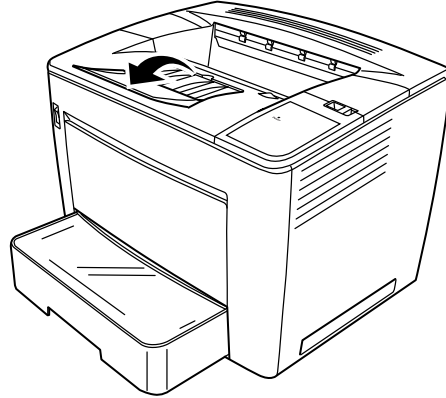
10. カセットカバーを取り付けます。



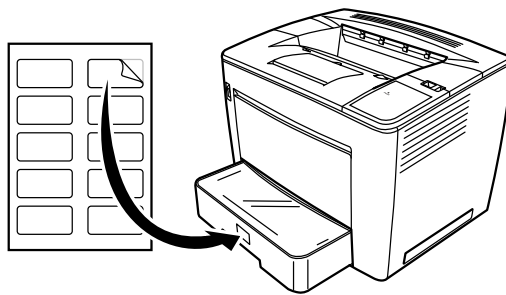
11. 給紙カセットをプリンタに取り付けます。



12. B4 サイズ以上の用紙に印刷する場合は、出力トレイエクステンションを開きます。

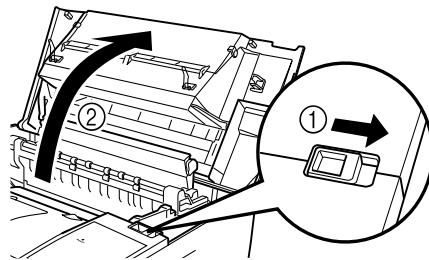


13. セットした用紙のサイズが分かるように、給紙カセットに用紙サイズラベルを貼り付けます。



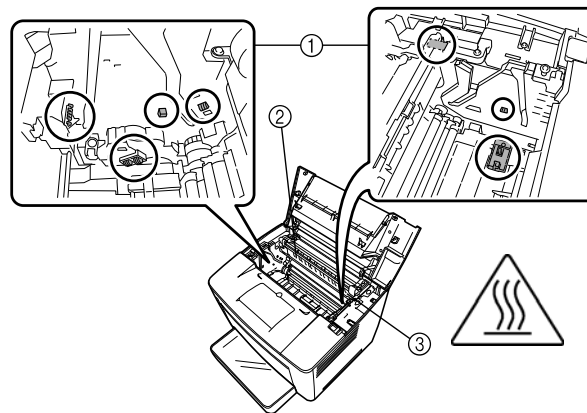
トナーカートリッジの交換

1. トップカバーリリースレバーを右にスライドして、トップカバーを開きます。

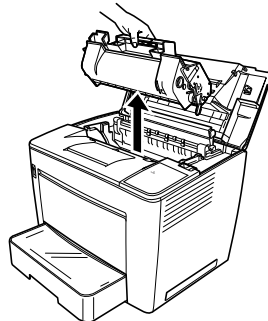


注：

- 銅/しんちゅう製の電極や、トップカバー内/トナーカートリッジ下にある電子部品には触らないようにしてください。プリンタが故障する危険性があります。
- イメージ転写ローラ（この部分にある部品に触れると印刷品質が低下する可能性がある）や定着ユニット（内部温度が約 392°F（200°C）に達するため、やけどの危険がある）の周囲には、絶対に触れないようにしてください。

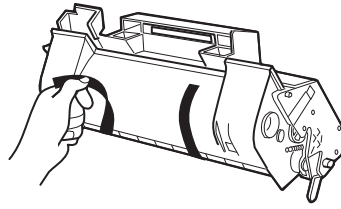


2. 使用済みトナーカートリッジを取り外します。

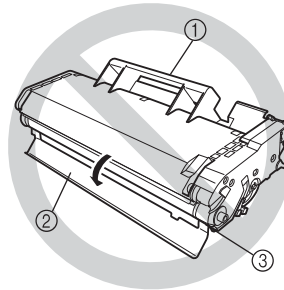


3. 新しいトナーカートリッジをボックスから取り出します。

4. 梱包テープを剥がします。

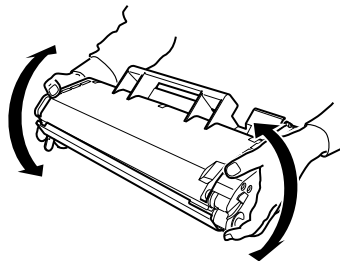


注：トナーカートリッジのハンドルを持ちます。OPC（緑色の領域）の保護カバー_iを開けたり、OPCに何かに触れたりしないようにしてください。皮脂や傷に弱いため、触れると印刷品質が低下してしまいます。この種類の問題は、保証ではカバーされません。



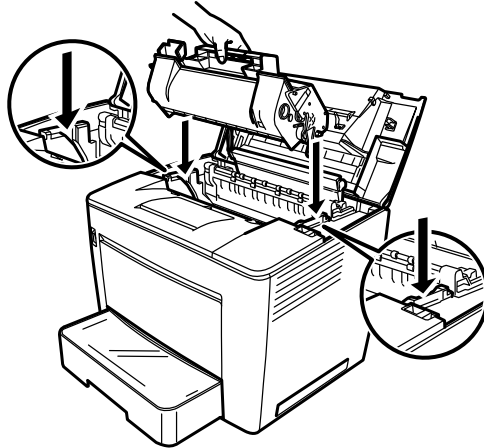
5. トナーカートリッジを左右に7～8回ゆっくりと傾けて、トナーを均一に慣らします。

このトナーに毒性はありません。トナーが手に付いた場合は、冷水と中性洗剤で洗い流してください。衣類にトナーが付着した場合は、それらをできるだけ払い落としてください。完全にトナーを払い落とせない場合は、冷水（温水不可）で洗い流してください（衣類が洗濯可能な場合）。



警告：眼にトナーが入った場合は、すぐに冷水で洗い流してから医師の診察を受けてください。

6. カートリッジのタブ（両側に1つずつ）をプリンタのノッチと揃えて、カートリッジをしっかりと挿入します。



7. トップカバーを閉じます。正しい位置にロックされるまで押し下げてください。

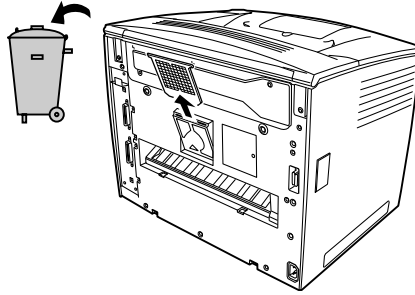
注：

- トナーカートリッジを取り付けた状態でプリンタを移動しないでください。プリンタ内にトナーがこぼれると、印刷品質が低下したり、プリンタが故障する可能性があります。
- メンテナンスまたはサービス中に交換したトナーカートリッジの廃棄については、ガイドラインが定められています。地域の規制に従うか、EPM の Web サイト、www.epminc.com にアクセスして、安全性データシート (MSDS) を参照してください。Web サイトから MSDS にアクセスする場合は、次のトナーカートリッジ番号の入力が必要になります：CAT No. 394 7884。

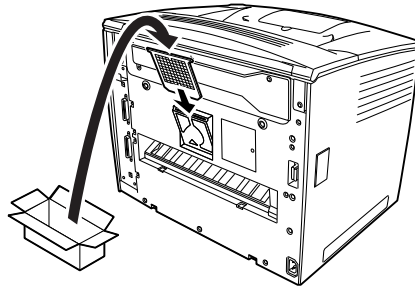
排気フィルタの交換

トナーカートリッジの交換時、プリンタ裏面にある排気フィルタを交換します。

1. 使用済みのフィルタを取り外し、地域の規制に従って廃棄します。



2. 新しいフィルタをボックスから取り出し、適切な場所に挿入します。



トラブルシューティング

紙詰まりの除去手順

コードから紙詰まりの場所を判断し、紙詰まり除去作業を行ってください。

注意：プリンタ作動中、内部の定着ユニットは非常に熱くなります。触れてやけどをしないように注意してください。

コード	説明
P0	給紙トレイに誤ったサイズ of 用紙がセットされています。 • 正しいサイズ of 用紙を正しい向きにセットしてください。このコードは複数枚 of 用紙が同時に給紙された場合にも表示されます。
P1	給紙部分付近で紙詰まりが発生しています。または、同時に複数の紙が給紙されています。
P2	トナーカートリッジ付近で紙詰まりが発生しています。
P3	定着ユニット付近で紙詰まりが発生しています。

給紙トレイからの紙詰まりの除去

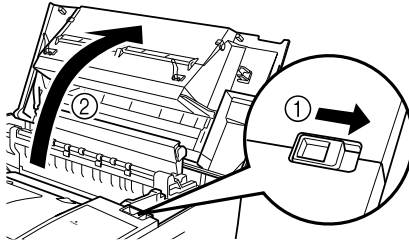
1. 給紙トレイからすべての用紙を取り出します。
2. 給紙エラーの原因となった用紙を取り出します。
3. 給紙トレイに正しく用紙をセットします。
4. 必要に応じて、トップカバーを開いてから閉じて、給紙エラーコードの表示を消します。

給紙カセットからの紙詰まりの除去

1. 給紙カセットを止まるまで完全に引き出します。
2. リリースボタン（両側に1つずつ）を押しながら、カセットを取り外します。
3. 給紙エラーの原因となった用紙を取り出します。カセットのローラ下に用紙が残っていないことを確認します。
4. 給紙エラーの原因となった用紙を簡単に取り出せない場合は、内部右側にある緑色のレバーを持ち上げて給紙ローラを解放してから、用紙を引き出してください。用紙を取り出したら、緑色のレバーを元に位置に戻します。詰まった用紙を無理矢理取り出さないようにしてください。
5. カセットを戻す前に、カセットに残っている用紙が正しくセットされていることを確認してください。カセットのローラ下に用紙が残っていないことを確認します。
6. カセットを戻します。

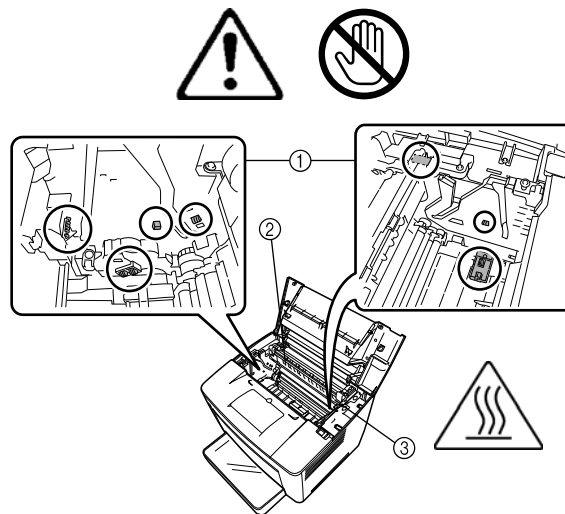
プリンタ内部の紙詰まりの除去

1. トップカバーを開きます。

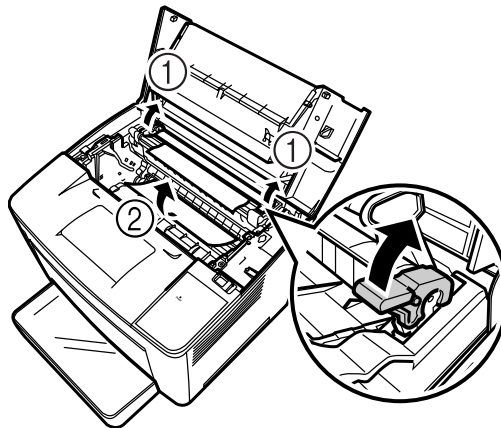


注意：銅 / しんちゅう製の電極や、トップカバー内 / トナーカートリッジ下にある電子部品には触らないようにしてください。プリンタが故障する危険性があります。

イメージ転写ローラの周り（触れると印刷品質が低下します）や定着ユニットの周り（触れるとやけどすることがあります）に触れないでください。

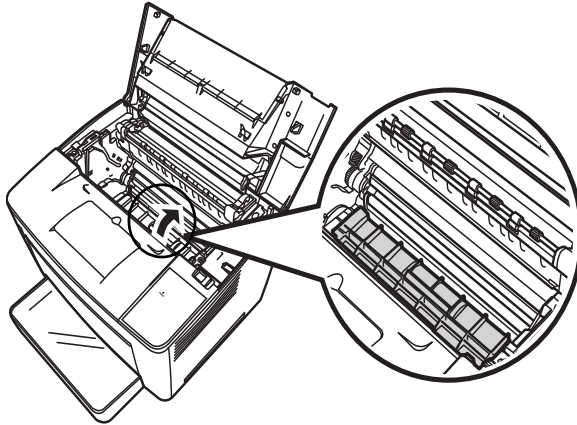


2. トナーカートリッジを取り外して、遮光バッグに入れます。
3. 定着ユニットで紙詰まりが発生している場合、両側の緑色のレバーを持ち上げて、ローラからゆっくりと紙を引き出します。



注：用紙をローラの上側からは引き出さないでください。印刷品質が低下する可能性があります。

- 紙詰まり用紙を取り除いたら、2つのレバーを下げます。
- 給紙ローラのカバーを開きます。



- 紙詰まり用紙を取り出します。
- 給紙ローラのカバーを閉じます。
- トナーカートリッジのタブをプリンタのノッチと揃えて、カートリッジを挿入します。
注：プリンタ内のローラやギアには触れないでください。
- トップカバーを閉じます。

出力ビンからの紙詰まりの除去

- 出力ビンから用紙を取り出します。
- 必要に応じて、紙詰まりを起こしている用紙を丁寧に取り除きます。

プリンタのメンテナンス

プリンタは定期的にクリーニングしてください。

注：

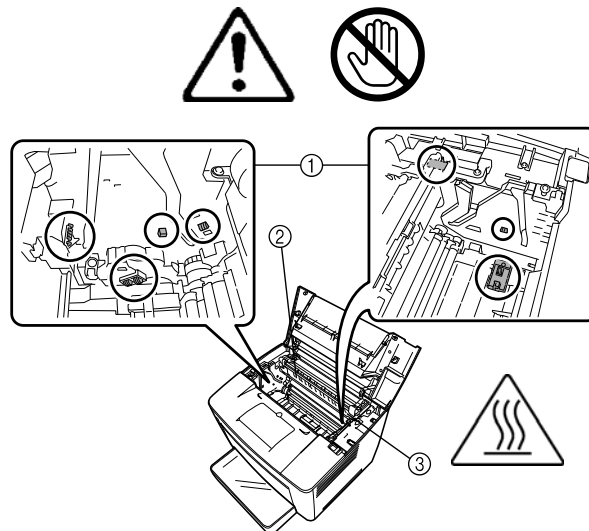
- 柔らかい布を使用してください。研磨剤や防腐剤の入った洗剤は絶対に使用しないでください。汚れがひどい場合は、湿った布と家庭用中性洗剤を使用してください。
- プリンタ表面に洗浄液を直接スプレーしないようにしてください。スプレーが通気口を通過してプリンタ内部に侵入し、プリンタを損傷する危険性があります。
- プリンタに水や洗剤をかけないでください。
- 銅/しんちゅう製の電極や、トッパカバー内/トナーカートリッジ下にある電子部品には触らないようにしてください。プリンタが故障する危険性があります。
- イメージ転写ローラの周り（触れると印刷品質が低下します）や定着ユニットの周り（触れるとやけどすることがあります）に触れないでください。

ピックアップローラのクリーニング

1. プリンタをオフにして、トッパカバーを開きます。

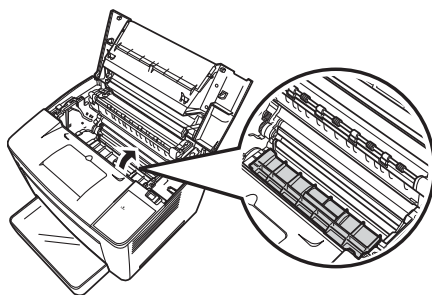
注：

- 銅/しんちゅう製の電極や、トッパカバー内/トナーカートリッジ下にある電子部品には触らないようにしてください。プリンタが故障する危険性があります。
- イメージ転写ローラ（この部分にある部品に触れると印刷品質が低下する可能性がある）や定着ユニット（内部温度が約 392°F (200°C) に達するため、やけどの危険がある）の周囲には、絶対に触れないようにしてください。

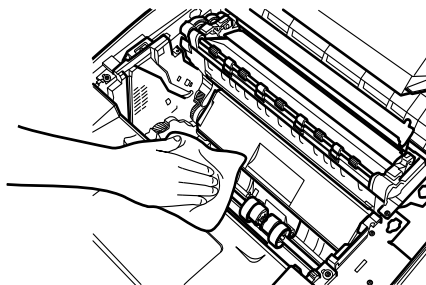


2. トナーカートリッジを取り外して、遮光バッグに入れます。

3. 給紙ローラのカバーを開きます。



4. 柔らかく乾いた布で、2つの給紙ローラを拭きます。

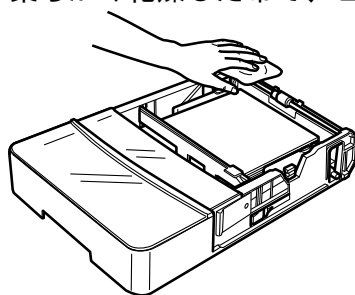


5. 給紙ローラのカバーを閉じます。
6. カートリッジのタブ（両側に1つずつ）をプリンタのノッチと揃えて、カートリッジをしっかりと挿入します。
7. トップカバーを閉じます。
8. プリンタの電源をオンにします。

給紙カセットのピックアップローラのクリーニング

センサーが汚れたり、ホコリがたまると、印刷品質が低下します。

1. プリンタの給紙カセットを止まるまで完全に引き出します。
2. 給紙カセットを取り外します。
3. 柔らかく乾燥した布で、ピックアップローラを拭きます。



4. 給紙カセットをプリンタに取り付けます。

5 スキャナーのメンテナンス

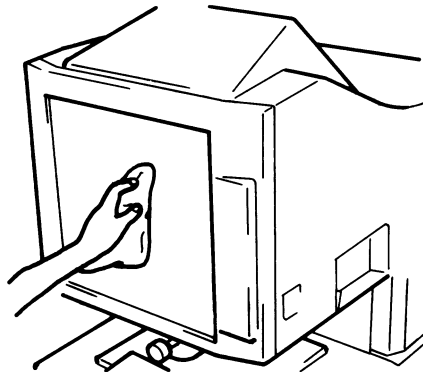
この章では、スキャナーの清掃とプロジェクタランプの交換のためのメンテナンス手順を説明します。

スキャナーのクリーニング

スキャナーの最適な状態を維持するために、毎日清掃する必要があります。

スキャナー画面のクリーニング

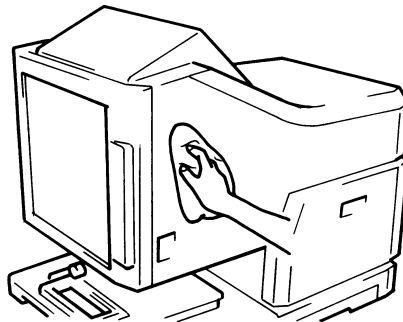
- 湿った布で、画面表面のチリやホコリを取り除きます。



注意：クリーニングにアルコールや溶剤は使わないでください。画面が損傷したり、フレームサイズのマーカが消えてしまう可能性があります。

外部カバー

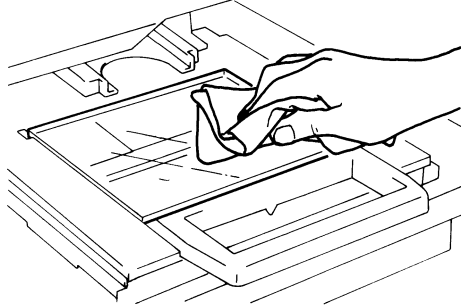
- スキャナーの外部パネルを、柔らかい乾燥した布で拭きます。



キャリアガラス

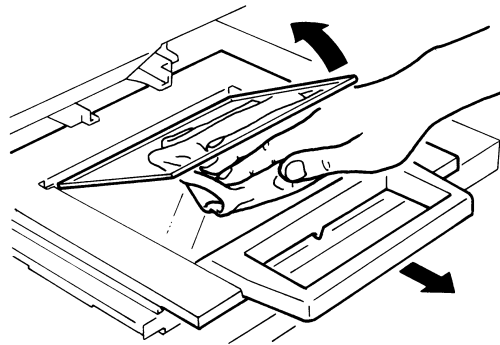
注：キャリアガラスをクリーニングする前に、スキャナーからプロジェクタレンズを取り外してください。手順は、第3章、「プロジェクタレンズの取り付け」を参照してください。

- 湿った布で、キャリアガラス表面のチリやホコリを取り除きます。



キャリアガラスを開くには：

- マイクロフィッシュホルダーを引き出します。湿った布で、キャリアガラスの内部表面を拭いて、チリやホコリを取り除きます。



- ノイズやスキャン品質の低下を防止するために、柔らかく乾いた布でガラスを拭きます。

プロジェクタランプの交換

画面の輝度が落ちた場合、またはランプが切れた場合は、次の手順に従ってプロジェクタランプを交換してください。交換用ランプがこのスキャナー用に指定されたものであることを確認してください (DC20 V 150 W DDL タイプ)。

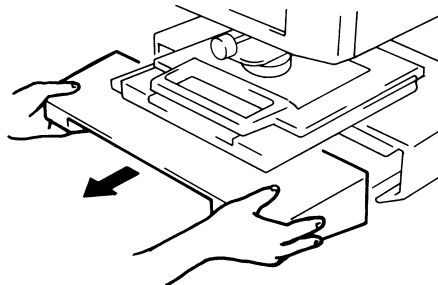
印刷処理中にプロジェクタランプが切れた場合、コード「L2」が表示され印刷ジョブが停止します (その時点の処理内容によっては、白紙が出力されることもあります)。

システムがプロジェクタランプが切れたことを検知すると、その時点でスキャンジョブはキャンセルされます。システムがサイクル印刷モードで動作している場合は、スキャン処理が中止されます。

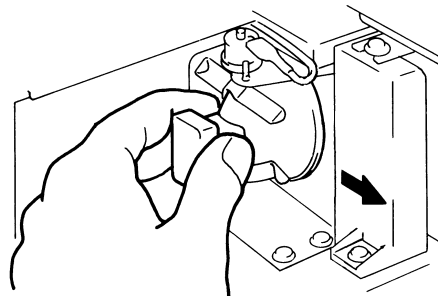
1. 電源スイッチをオフにします。

警告：運用終了直後、または電源をオフにした直後に、素手でランプを触らないでください。

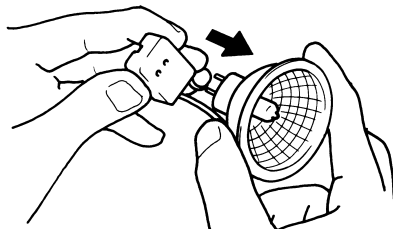
2. プロジェクタランプユニットを取り出します。



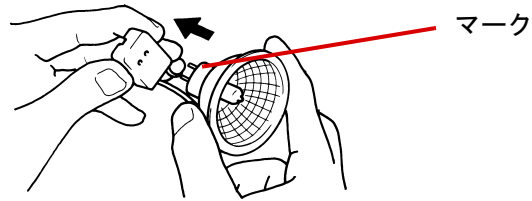
3. ランプホルダーからプロジェクタランプを取り外します。



4. ランプソケットからプロジェクタランプを取り外します。

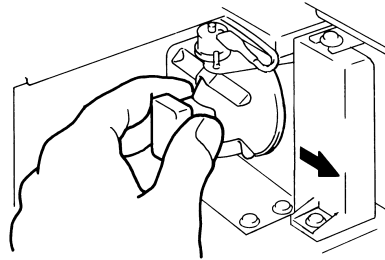


5. 新しいプロジェクタランプを、底にあるマークが上を向くようにして挿入します。プロジェクタランプとランプソケット間に隙間ができないように、プロジェクタランプをしっかりと挿入してください。

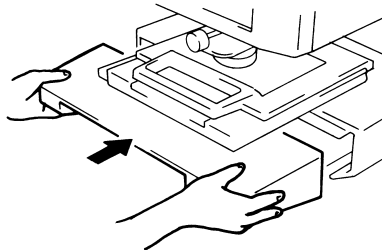


注意：プロジェクタランプの反射鏡表面には触らないでください。指紋、汚れ、ホコリなどが付いた場合は、柔らかい乾燥した布で清掃してください。

6. プロジェクタランプをランプホルダーに戻します。



7. プロジェクタランプユニットを元の場所に戻します。



注：プロジェクションユニットが正しく取り付けられていない場合、電源は供給されず、スキャナーは作動しません。

8. 電源スイッチを入れる。

6 トラブルシューティング / メッセージ

この章では、IMAGEL INK 2400 DV プラス デジタルスキャナーの使用中に、発生する可能性がある運用上の問題やエラーについて分析と対策をまとめます。

プリンタ/スキャナーの誤作動

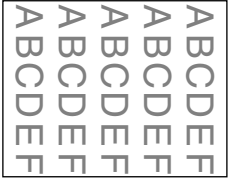
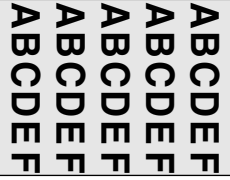
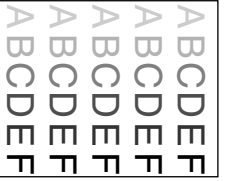

コード	説明
E1	プリンタの電源がオフになっているか、またはプリンタへのインターフェイスクーブル接続に問題があります。 • プリンタをオンにするか、インターフェイスクーブルが正しく接続されていることを確認してください。
E2	プリンタの上部カバーが開いています。 • カバーをきちんと閉じてください。
E3	トナーカートリッジがセットされていない、または故障しています。 • 正しいトナーカートリッジを取り付けてください。
E4	別な種類のトナーカートリッジがセットされています。 • 正しいトナーカートリッジを取り付けてください。
FE	期限切れ（使用済み）トナーカートリッジを使用しています。スタートキーを再度押すと、印刷します。（クリア / 停止キーを押すと、印刷はキャンセルされます。） • すぐにトナーカートリッジを交換してください。
PE	プリンタの用紙切れです。 • 給紙カセットに用紙を補給してください。
PF	出力ビンが用紙で一杯です。 • 出力ビンから用紙を取り出します。
PC	スキャナーが PC に接続され、スキャン可能な状態になると点滅します。 • スタートキーを押すとスキャンを開始します。
Pc	スキャナーが PC に接続されていません。 • PC をオンにするか、またはインターフェイスクーブルで PC にスキャナーを接続してください。
L2	プロジェクタランプが切れました。 • 電源をオフにして、電源コードを抜き、ランプを交換してください。 印刷中にランプが切れた場合、白紙が出力されることがあります。
Lb	日付印刷用のバッテリーが切れました。 • 日付印刷機能をオフにするか、EPM のサービス担当者に連絡してください。
01	拡大警告ディスプレイ • 電子ズームによる倍率の変更が行われました。 • 標準の倍率以外を使用すると、この記号が表示されます。

以下は、システムで発生する誤作動のリストです。

場所	コード	説明
スキャナー	C1	光路切り替え障害
	C2	スキャンの誤動作
	C4	ファンモーター異常
プリンタ	C6	定着ユニット異常
	C7	レーザー異常
	C8	ポリゴンモーター異常
	C9	メインドライブモーター異常 イメージングカートリッジのドライブモーター異常
	CA	ファンモーター異常
	CG	イメージ転送電圧エラー
スキャナー プリンタ	Cb	通信異常 (プリンタ)
	CL	プリンタ時計異常
スキャナー PC	CC	通信異常 (PC)

プリンタの問題解決

次のような印刷上の問題が発生した場合は、対処方法に従って作業を行ってください。この作業を行っても印刷品質が改善しない場合は、EPM のサービス担当者までお問い合わせください。

症状	原因	対応
イメージが明るい 	印刷濃度が正しく設定されていません。 イメージングカートリッジのトナーが切れかけています。	適切な印刷濃度を設定してください。 新しいイメージングカートリッジに交換してください。
イメージが暗い 	印刷濃度が正しく設定されていません。	適切な印刷濃度を設定してください。
イメージの一部が欠ける 	トレイ内の用紙が湿っています。	湿った用紙を、新しい乾燥した用紙に交換してください。
イメージ濃度が不均一 	トナーカートリッジ内のトナーが均一に分散されていません。	トナーカートリッジを取り外し、数回振って再度セットします。
何も印刷されない 	プリンタが故障しています。	EPM のサービス担当者にご連絡ください。

付録 A 仕様

以下は、IMAGELINK 2400 DV プラス デジタルスキャナーおよび IMAGELINK 34 ppm ビデオレーザースキャナーの仕様です。

注：仕様は通告なしに変更される場合があります。

IMAGELINK 2400 DV プラス デジタルスキャナー

仕様	
種類	デスクトップタイプのマイクロフィルムスキャナー
フィルムの種類	マイクロフィッシュ、ジャケット、アパーチャカード、16 mm & 35 mm ロールフィルム、16 mm フィルムカートリッジ
倍率	7.5x、9x-16x、13x-27x、23x-50x
画面	300 mm x 300 mm
イメージ回転	プリズム回転、キャリア回転（フィッシュキャリア）
スキャン方式	スキャン/スキャン方向：CCD スキャン スキャン/送り方向：ミラースキャン
露光制御	ADF、マニュアル
光源	ハロゲンランプ（DC20 V 150 W DDL タイプ）
所要電力	120 VAC（60 Hz）または 220 ~ 240 VAC（50 ~ 60 Hz）
消費電力	350 W 未満 自動節電モード： 6 W 未満（120 V） 8 W 未満（220 V）
外形寸法	503（幅）x 821（奥行き）x 716（高さ）mm 19 3/4（幅）x 32 3/8（奥行き）x 28 1/4（高さ）インチ
重さ	42 kg（92.5 ポンド）
標準アクセサリ	電源コード、プリンタケーブル、プリズムユニット、ユーザーズガイド
オプション	プロジェクタレンズ、フィッシュキャリア 5、ユニバーサルキャリア UC-2 および UC-8、ロールフィルムキャリア 15A/15M、MARS ミニコントローラ 2、手動フォームマスキングキット、グレースケールメモリボード、PC インターフェイスキット

PC モード

仕様	
解像度	200、300、400、600、800 dpi
出力スケール	白黒、グレースケール（オプション）
PC インターフェイス	USB 2.0 Hi-Speed

PR モード - *IMAGEL INK* 34 ppm ビデオレーザープリンタ

仕様	
解像度	600 dpi
出力スケール	バイナリ
印刷方式	レーザー静電複写方式
開発システム	Super-MT (スーパーマイクロトローニング現像) システム
印刷サイズ	8 1/2 x 11" (A4) 横、11 x 17" (A3) 縦 8 1/2 x 11" (A4) 縦、8 1/2 x 14" (B4) 縦
ウォームアップ時間	70 秒未満
初回印刷時間	19 秒 (11 x 17" または A3、600 dpi、AE) 16.5 秒 (8 1/2 x 11" または A4、600 dpi、AE)
印刷速度	18.5 枚 / 分 (11 x 17" または A3、600 dpi) 34 枚 / 分 (8 1/2 x 11" または A4、600 dpi)
マルチプリント	1 ~ 19 枚 (LED カウントダウン式)
給紙	自動給紙 給紙トレイ (最高 200 枚) 給紙カセット (最高 500 枚)
プリンタの消費電力	1100 W 未満
プリンタ寸法	539 (幅) x 566 (奥行き) x 423 (高さ) mm 21.2 (幅) x 22.2 (奥行き) x 17 (高さ) インチ
プリンタ重量	32.5 kg (71.75 ポンド) < トナーカートリッジを含む >

付録 B ユーザおよびシステム設定

このシステムでは次のような設定を行うことができます。

- 操作パネルからユーザーが行うユーザ設定。
- ユーザモードでユーザが行う設定。
- 販売業者が行うシステム設定。

以下は出荷時の設定一覧です。

ユーザ設定	初期設定
露光モード	Auto（自動）
イメージ濃度	中央
用紙サイズ	レター (A4) 横 回転オフ
フィルムの種類	Auto（自動）
自動傾き補正	オフ
自動マスキング	オフ
手動マスキング	手動マスキングキット（オプション）を取り付けた場合にのみ利用可能
センタリング/フィット	オフ
印刷モード	テキスト
解像度	600 dpi

注：これらの機能のいずれかを変更した場合は、メモリ入力キーを押して新しい設定を保存します。

ユーザモード

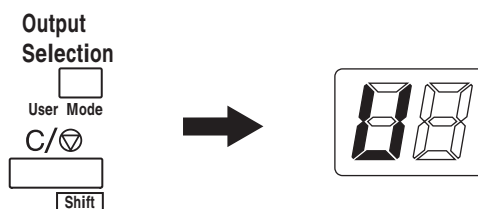
ユーザモードでは、さまざまな機能のデフォルト値を必要に応じて設定、変更することができます。これらの機能の大半は EPM の営業担当者によって設定されますが、一部のユーザモードはお客様ご自身で変更することができます。

ニーズに応じてこれらのデフォルト設定を変更することで、時間が節約でき、効率よく作業することができます。以下のモードを設定できます。

ディスプレー	機能	説明
U1	特殊印刷モード	利用不可能。
U2	エンジニアリング拡張モード	スキャン方向に発生するわずかなイメージの歪みを補正します。
U3	自動節電	装置が自動的に節電モードに移行するまでの時間を設定する場合に使用します。
U4	給紙トレイサイズ	給紙トレイにセットする用紙のサイズと向きを設定する場合に使用します。
U5	インプリント位置設定	日付印刷/文字オーバーレイ機能をオン/オフにしたり、日付の印刷位置を設定する場合に使用します。
U6	年月日設定モード	日付印刷機能の印刷パターンを設定する場合に使用します。
U7	インプリントモード設定	日付印刷機能の時間を修正する場合に使用します。
U8	合計スキャンカウンタ	スキャナーで実施されたスキャンシーケンス数を表示する場合に使用します。

ユーザモードへの移行とモードの終了

1. **Shift** キーを押しながら、出力先選択キーを 0.5 秒以上押します。マルチプリントディスプレイに「U」が表示されます。



2. **露光調節キー**（ダーカーキーとライターキー）を押して、目的の機能を選択します。
 - **ダーカーキー**を押すと、以下の順番に機能がスクロールされます。U、U1、U2、U3 ... U8
 - **ライターキー**を押すと、以下の順番に機能がスクロールされます。U8、U7、U6、U5 ... U

3. 露光モードキーを押して、d(*) を表示します。

* : 現在の設定値



4. 露光調節キー（ダーカーキーとライターキー）を押して、目的の設定値を選択します。

- ダーカーキーを押すと、以下の順番に設定値がスクロールされます。d0、d1...d5。
- ライターキーを押すと、以下の順番に設定値がスクロールされます。d5、d4...d0。

5. 目的の設定値になったら、スタートキーを押します。

注 :

- 目的の設定値になった時に露光モードキーを押してしまうと、設定値は保存されず、ユーザモードの初期画面 (U) が表示されます。
- 新たな機能を設定する場合は、上記のステップ 2 から作業を開始します。

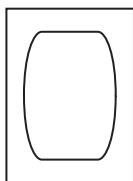
6. Clear（消去）キーを押して、ユーザモードを終了します。

ユーザモードの各機能の設定

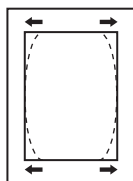
U1：特殊印刷モード — この機能は使用できません。

U2：エンジニアリング拡張モード — この機能を使って、スキャン方向に発生するわずかな歪みを補正することができます。

補正前



補正後



1. ユーザモードで **U2** を選択します。
2. 露光モードキーを押して、d(*) を表示します。
3. 露光調節キー（ダーカーキーとライターキー）を押して、目的の設定値を選択します。
4. 目的の設定になったら、**スタートキー**を押します。

注：電源スイッチをオフにすると、この設定値はデフォルト値に戻ります。ジョブプログラム機能を使用して、この設定を登録できます。

コード	設定値	初期設定
d0	0 mm	
d1	0.5 mm	
d2	1.0 mm	
d3	1.5 mm	*
d4	2.0 mm	
d5	2.5 mm	
d6	3.0 mm	
d7	3.5 mm	
d8	4.0 mm	

U3：自動節電 — 節電モードに自動的に設定されるまでに要する時間。

1. ユーザモードで **U3** を選択します。
2. 露光モードキーを押して、d(*) を表示します。
3. 露光調節キー（ダーカーキーとライターキー）を押して、目的の設定値を選択します。
4. 目的の設定になったら、**スタートキー**を押します。

コード	設定値	初期設定
d1	自動節電（15分）	*
d2	自動節電（30分）	
d3	自動節電（60分）	

注：米国/カナダ地域のみ：スキャナーにエナジースターキットが取り付けられている場合にのみ、自動節電機能が使用できます。

U4 : 給紙トレイサイズ — この機能を使って、給紙トレイにセットされている用紙のサイズと向きを設定できます。

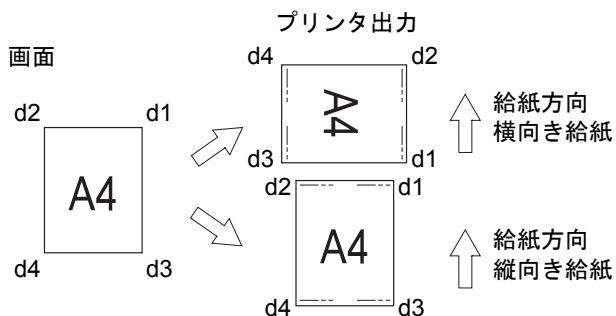
1. ユーザモードで **U4** を選択します。
2. **露光モード**キーを押して、d(*) を表示します。
3. **露光調節**キー（**ダーカー**キーと**ライター**キー）を押して、目的の設定値を選択します。
4. 目的の設定になったら、**スタート**キーを押します。

コード	設定値	初期設定
d0	レター /A4(横)	*
d1	レター /A4(縦)	
d2	帳簿 (縦)	
d3	帳簿 (縦)	

注 : d3 は米国、カナダ地域のみ。

U5 : インプリント位置 — この機能を使って、日付印刷 / 文字オーバーレイ機能をオン、オフにしたり、日付印刷位置を設定できます。

日付印刷位置は、画面上の位置を表し、プリンタの給紙方向には関係ありません。



1. ユーザモードで **U5** を選択します。
2. **露光モード**キーを押して、d(*) を表示します。
3. **露光調節**キー（**ダーカー**キーと**ライター**キー）を押して、目的の設定値を選択します。
4. 目的の設定になったら、**スタート**キーを押します。

コード	設定値	初期設定
d0	日付印刷 / 文字オーバーレイ機能オフ	*
d1	日付印刷 (右上)	
d2	日付印刷 (右下)	
d3	日付印刷 (左上)	
d4	日付印刷 (左下)	
d5	文字オーバーレイ (十)	

十 オーバーレイするデータをスキャナーに転送する時のみ、PC とインターフェイスキットが必要になります。

U6: 年月日設定モード — 日付印刷機能の印刷パターンをこの機能で設定できます。

1. ユーザモードで **U6** を選択します。
2. **露光モード**キーを押して、d(*) を表示します。
3. **露光調節**キー（**ダーカー**キーと**ライター**キー）を押して、目的の設定値を選択します。
4. 目的の設定になったら、**スタート**キーを押します。

コード	設定値	初期設定
d0	年 . 月 . 日 (2009.05.15)	*
d1	月 日 年 (05 15 2009)	
d2	日 月 年 (15 05 2009)	
d3	月 . 日 時 : 分 (05.15 13: 45)	

年 : 4 桁の西暦年

月 : 2 桁

日 : 2 桁

時 : 2 桁 (24 時間表記)

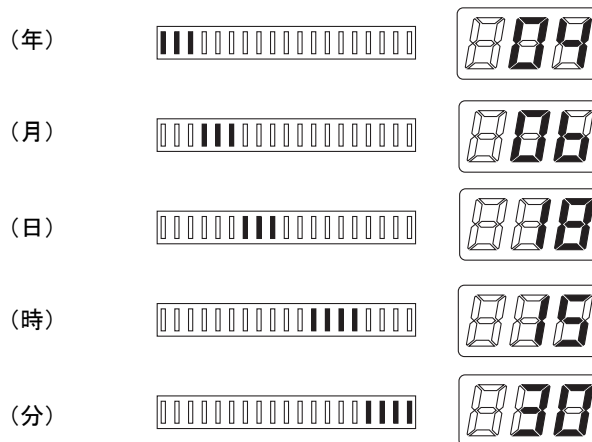
分 : 2 桁

U7: インプリントモード設定 — 時刻が間違っている場合は、日付印刷機能を使用して正しい時刻を設定します。

1. ユーザモードで **U7** を選択します。
2. **露光モード**キーを押します。露光モードキーを押すと、露光ディスプレイとマルチプリントディスプレイの両方が点灯します。

注 : 初期状態では、年のデフォルト設定が表示されます。

- **ダーカー**キーを押すたびに、露光ディスプレイが順次上にスクロールします。各位置はそれぞれ、次の各項目の設定値であることを示しています : 月 . 日 時 : 分。
- **ライター**キーを押すたびに、露光ディスプレイが順次下にスクロールして、設定モードを選択します。



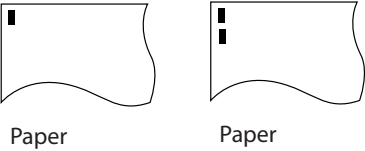
3. 各設定モードでは、マルチプリントキーを押して設定値を入力します。マルチプリントキーを押すたびに、設定値が増加します。値がその項目の最大値を超えた場合、00 または 01 (月、日) に戻ります。
4. すべてのモードの設定が終了したら、スタートキーを押して、時刻の設定を確定します。

U8: 合計スキャンカウンタ — この機能を使って、スキャナーで実施されたスキャンシーケンス数を表示することができます。

1. ユーザモードで **U8** を選択します。
2. スタートキーを押します。スキャナーの現在のスキャン回数が表示されます。

システム設定

システム設定	選択項目	初期設定	説明
オートリセット	有効 無効	200 V * 120 V *	操作パネルで行った変更内容が 60 秒以内に適用されなかった場合、設定内容が自動的にキャンセルされて元の設定に戻ります。
自動節電オン/オフ	有効 無効	200 V * 120 V *	装置の自動節電モードを有効/無効にします。米国/カナダ地域 (120 V 地域) の場合、スキャナーにエナジースターキットを取り付けた場合にのみ、自動節電モードを利用できます。
プリンタヒーターオフ (PR モードのみ)	無効 30 分 60 分	*	システムが一定時間アイドル状態になった場合に、プリンタのヒーターをオフにします。節電モードが有効になっている場合、節電モードが優先されます。
自動プロジェクタランプ オフ	無効 30 分 60 分	*	システムが一定時間アイドル状態になった場合に、プリンタのプロジェクタランプをオフにします。節電モードが有効になっている場合、節電モードが優先されます。
ファインモードのコントラスト設定	コントラスト 強調 アウトライン 強調	*	必要に応じて次の機能を適用します。 コントラスト強調 : 背景に比べてコントラストが低く、読みにくいテキストがあるフィルムに適用されます。 アウトライン強調 : フィルムに不鮮明な白黒イメージが含まれている場合に適用されます。
自動傾き補正の保持	保持 非保持	*	印刷後も元の傾いた画面イメージ (補正前) を保持するかどうかを設定します。

システム設定	選択項目	初期設定	説明
装置 ID 印刷 (PR モードのみ)	無効 パターン 1 パターン 2	*	1 台のプリンタに 2 台のスキャナーを接続した場合、印刷物に ID マーカーを記録して印刷後にジョブに使用したスキャナーを判別できるようにします。 Pattern 1 Pattern 2  Paper Paper
サイクル印刷モード (PR モードのみ)	有効 無効	*	あらかじめ設定された期間の経過後に、自動的に次のイメージをスキャンします（期間は EPM のサービス担当者が設定可能）。イメージは、ユーザがサイクル間にキャリアガラスにセットします。
給紙トレイの用紙サイズ (PR モードのみ)	ユーザモードの「U4」設定と同じです。		プリンタの給紙トレイの用紙サイズと用紙の向きを設定できます。
[コントラスト] 設定	ライター Normal (普通) ダーカー	*	標準的な濃度範囲が鮮明なイメージを表示するには：ライト (-1 ~ -7)。イメージの白黒を強調するには：ダーク (+1 ~ +7)。
トナー切れ / トナーカートリッジ寿命切れ検知時の印刷機能 (PR モードのみ)	<ul style="list-style-type: none"> • 空 > 無効 • 印刷寿命 > 印刷無効 • 空 > 印刷寿命有効 > 印刷無効 • 空 > 印刷寿命有効 > 印刷有効 	*	トナーが空になった状態、またはトナーカートリッジの寿命を検出した場合は、印刷の 停止 または 続行 を選択できます。 注意：トナーカートリッジの寿命に達した後、印刷 有効 を選択すると、スタートキーを押している間、 TE が表示されます。
フィルムフォーマット自動選択印刷機能 (PR モードのみ)	有効 無効	*120 V *200 V	自動フィルムフォーマット選択機能は、操作パネルで有効 / 無効にできます。
90 度回転設定	有効 無効	*	プリズムを回転して、画面のイメージを 90 度回転できます。
給紙元自動切り替え (PR モードのみ)	自動切り替え 自動切換え無効	*	給紙トレイと給紙カセットにレター / A4 サイズの用紙が横向きまたは縦向きにセットされている場合に、給紙元を指定することができます。 自動切り替え ：片方の給紙元の用紙がなくなった場合、自動的にもう一方の給紙元の用紙を使って印刷を継続します。 自動切り替え無効 ：指定された給紙元の用紙がなくなると用紙切れと判断され、印刷が中止されます。用紙を再度セットするか、または 出力先選択 キーを押して別の給紙元に切り替える必要があります。

* 上記で説明したシステム設定を変更する場合は、EPM のサービス担当者にご連絡ください。

付録 C 主なオペレータ情報

サービスの依頼をする場合は、次の情報を準備しておいてください。

- お客様の会社名、住所、電話番号、部門名、階数、マシンの場所など。
- K# (スキャナー/プリンタ)、モデル名、シリアル番号、ディスプレイの状態または表示など。

モデル名	<i>IMAGEL INK 2400 DV プラス デジタルスキャナー</i> シリアル番号 K#
	<i>IMAGEL INK 34 ppm ビデオレーザープリンタ</i> シリアル番号 K#
利用アクセサリ	シリアル番号
	シリアル番号
	シリアル番号
	シリアル番号
	シリアル番号
設置日	
EPM の担当者 電話番号 #	

